

会 報

第136号
(1998年7月)



関西ハーモニカ連盟

関西ハーモニカ連盟 会報 第136号

98年7月1日発行、98年6月16日発送

発行部数 300 毎年4, 7, 10, 1月に発行(送付はそれぞれ前月中下旬)

関西ハーモニカ連盟

理事長 仲村 眞 〒545-0005 大阪市阿倍野区三昧町2-6-10
☎06 624-5606 FAXも同じ

副理事長兼事務局長

田中 祥雄 〒610-1127 京都市西京区大原野上里鳥見町14-20
☎075 331-1033 FAXも同じ

副理事長兼編集局長

吉村 則次 〒591-8008 堺市東浅香山町3-104-5-201
☎0722 51-9398 FAXも同じ

事業部長 飛田 保雄 〒611-0031 宇治市広野町寺山17番地の79
☎0774 41-6568 FAX 0774 43-3789

指導部長 白鳥 達夫 〒577-0842 東大阪市大連東2-9-12
☎06 728-7951

技術部長 宇佐美 進 〒573-1155 枚方市招提南町2-7-15
☎0720 57-2077 FAXも同じ

組織部長 大石 喜一郎 〒567-0074 茨木市新郡山2-31-35
☎0726 41-2087 FAXも同じ

会計部長 後藤 貞男 〒596-0005 岸和田市春木旭町36-17
☎0724 41-0552 FAXも同じ

常任顧問 酒井 涼爾、吉森 正隆、平口 謙二、小林 忠夫、板村 忠重

特別顧問 森本 恵夫、齋藤 寿孝、徳永 延生、和谷 泰扶

常任理事 新井善久、今井康郎、入江章次、織田太郎、楠 陽児、吹上晴彦、

村上浩一、村田 潤、吉見 治、吉見 忠、渡辺 昇、和谷篤樹

会計監査 山村信彦

入会のご案内

入会費1000円、年会費(1-12月)個人5000円、賛助会員(業者)10000円

ハーモニカが好きなかたなら、吹くかた吹かないかた、聞くのが好きなかた、複音愛好のかた、クロマチック愛好のかた、ブルースハーブ愛好のかた、上手なかた下手なかた、上手になりたいかた、ニュースだけほしいかた、どなたでも入会できます。入会金と年会費をお近くの郵便局から次の指定振替口座に振り込みください。振込払込票の通信欄に「入会申込」と記入してください。会員名簿(氏名、住所、電話番号)は公表いたします。

郵便振替口座 00950-6-115527 加入者名 関西ハーモニカ連盟

年度途中入会の方には、当年度のバックナンバーをお送りします。

この会報は、当連盟全会員のほか、地域単位で組織され活動しているハーモニカ各団体(連盟、協会、愛好会等)及び著名演奏家並びに関係各団体(新聞、放送各社、販売業者等)にもお送りしております。

現在組織され活動しているが送付が漏れている関西以外の団体で、無料送付をご希望のかたは、上記編集局長あてお知らせください。

会員は、本誌に無料で広告を掲載することができます。コンサートの宣伝、教室の受講勧誘、演奏グループのメンバー募集等にもご利用ください。



関西ハーモニカ連盟 会報 98 / 7月号 目次

表紙写真 マリンバンド、ハーブ・シュライナー・モデル 編集局
裏表紙 ハーモニカだ！ 製作 吉村則次

小林忠夫先生のハーモニカ大賞受賞を祝う 常任顧問小林忠夫が日本ハーモニカ大賞 山村信彦氏、村田潤氏が日本ハーモニカ賞受賞 第2回西日本ハーモニカ・コンテスト、いよいよ開催 ハーモニカ・カレンダー（行事の実績と今後の予定） 関西ハーモニカ祭りご案内と出場者募集 すてきに きもので クラシック 特別顧問 格調高い和谷泰扶リサイタル 特別顧問 和谷泰扶関連「音楽の友」と「京都新聞」記事 コンサート、コンサート、コンサート 日本ハーモニカ芸術協会関西支部コンサート 石川澄男氏がハーモニカCD 独奏複音ハーモニカのための編曲とは何か とっておきの話〔9〕編曲について考える 特別顧問 レターボックス—皆さんからのお便り— アジア太平洋ハーモニカ大会（マレーシア）参加旅行 随筆、梶 又一郎の手紙 来年1999年のハーモニカ祭り会場を求む 1999年世界ハーモニカ大会（フランス）日程と場所決まる 会員、木谷悦子氏の活躍—写真と新聞— 浜松ハーモニカ工場見学と懇親演奏旅行の写真 鈴木ハーモニカ工場見学記 リードが溶接でつけられている!! 浜松にて 写真ニュース—コンサート等— ペンタトニックハーモニカの世界 新しいハーモニカCD等 アジアにもすごいクロマチック奏者がいるものだ 徳永ハーモニカ教室が今年もハーモニカツアーを 9/13から2泊3日で奈良県十津川へ 「ルネッサンス」=新しいクロマチックハーモニカ アメリカにハーモニカコレクターズ協会発足 ハーモニカメーカーは世界にいくつある？ 情報をお送りください 木谷悦子が神戸山下ピアノでクロマチック教室 台湾の会社がホーナーの過半数の株主に 関西のクロマチック・ハーモニカ教室と指導者一覧 98/7-9月研修会ご案内 斎藤壽孝氏（特別顧問）が「佐藤秀廊伝」を出版 新入会員紹介、住所変更、退会、名簿訂正等 小林忠夫愛奏曲集発行 テレビもラジカセもなかったころ、ハーモニカがあった！ —アメリカ・ホーナーの昭和11年(1936)の広告— パソコンを買いまして ハーモニカはお米と交換で	理 事 長 3 事務局長 4 実行委員長 5 編 集 局 7 事業部長 10 斎藤 壽孝 11 森本 恵夫 12 編 集 局 13 吉村 則次 15 日本H芸術協会 16 編 集 局 16 吉村 則次 17 森本 恵夫 21 編 集 局 23 編 集 局 28 永久 欣示 29 事業部長 30 編 集 局 30 編 集 局 31 編 集 局 33 事業部長 34 吉村 則次 34 編 集 局 35 入江 章次 36 吉村 則次 37 村越 克司 39 徳永教室 39 SPAHの会報記事 40 編 集 局 40 吉村 則次 41 編 集 局 42 指 導 部 42 SPAHの会報記事 42 指 導 部 43 指 導 部 45 編 集 局 45 組 織 部 46 編 集 局 46 SPAHの会報記事 47 編集局長 47 朝日新聞記事より 48
--	---

(注) SPAH=アメリカハーモニカ協会

同封物

- ①日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会コンサート(6/20)のプログラム
- ②第2回西日本ハーモニカコンテスト、参加者数、開始時刻等詳細



小林忠夫先生（当連盟常任顧問）の 日本ハーモニカ大賞受賞を祝う

理事長 仲村 眞

去る本年4月26日に東京で行われた全日本ハーモニカ連盟の総会において、当連盟常任顧問の小林忠夫先生が“日本ハーモニカ大賞”を受賞されました。

全日本ハーモニカ連盟（以下全連と略します）は、1927年に結成され、本年は創立70周年（正確には71年目）に当たり、その記念大会の席上での受賞でした。

全連のメンバーは、ハーモニカ界において日本各地で、その技術や指導、あるいは普及発展の中心的な活動をされてる方々で構成されており、特に並優れた活躍をされた方や、長年の功績ある方（団体や個人）に対し“日本ハーモニカ賞”を贈るようになったのは、1978年（昭和53年）以来、今回でちょうど20回目になります。

小林忠夫先生は、この第1回に既に日本ハーモニカ賞を受賞されておられますが、その門下生からも京都ハーモニカクワルテット（メンバーが代わって第2回と第16回）、和谷優広氏（第3回）、和谷泰扶氏（第7回）、京都ハーモニカベガサス（第10回）、新井善久氏（第12回）、そして又小林先生に指導を受けられた方々であると私が認識している上本洋氏（第17回）、飛田保雄氏（第19回）、そして今回の村田潤氏も日本ハーモニカ賞受賞者であります。

ついでながら、現在まで関西においては、特別賞の徳永延生氏（第17回）及び平口謙二（第4回）、吉森正隆（第9回）、白鳥達夫（第11回）、酒井涼爾（第14回）の各氏らを含め24個人及び関西ハーモニカポップス（第3回）ら6団体が日本ハーモニカ賞を受賞されている事も申し添えます。

本年1月20日に小林忠夫氏の直弟子の和谷泰扶氏が京都府文化賞を受賞された事も、記憶に新しいところであります。

小林先生、この度は本当におめでとうございます。そして先生がいつまでもお元気で、演奏に指導に、益々活躍されることを願ってお祝いの言葉とさせていただきます。◎



98/4/26 全日本ハーモニカ連盟
日本ハーモニカ賞 授与式
ハーモニカ大賞を受ける小林 忠夫氏



98/4/26 全日本ハーモニカ連盟
日本ハーモニカ賞 授与式
左 村田潤、右 山村信彦

常任顧問小林忠夫氏が日本ハーモニカ大賞受賞
山村信彦氏及び村田潤氏が
日本ハーモニカ賞を受賞

事務局 長

98/4/26、東京の日本青年館で行われた全日本ハーモニカ連盟の定期総会「ハーモニカ・フォーラム'98」の席上、今年度の日本ハーモニカ賞の授与が行われた。

当連盟からは、常任顧問の小林忠夫氏が「永年に亘る演奏家としての活躍に加え、世界最高レベルの人材を門下から輩出した」ことにより、日本ハーモニカ大賞を受賞した。

また山村信彦氏及び村田潤氏が「演奏、指導に活躍した」ことにより日本ハーモニカ賞を受賞した。（左ページの写真参照）

日本ハーモニカ大賞は、非常に権威のあるものであって、当連盟からの受賞者は最初である。（注、95年には特別顧問の徳永延生氏が特別賞を受賞）

この受賞を機に、さらに幅広いご活躍とますますのご健勝を祈念いたします。

また、同総会席上、当連盟の織田太郎氏、田中祥雄氏、水井一雄氏が同連盟の理事に、また新井尚子氏、今井康郎氏及び大石喜一郎氏が幹事に、それぞれ選任され、就任した。



第2回西日本ハーモニカコンテスト

9月6日 日曜日 交野市で開催!

実行委員長 仲村 眞

前号折り込みにて参加者を募集しました第2回西日本ハーモニカコンテストは、次のとおり開催することとなりました。参加者以外の一般のかたも奮ってご来場ください。練習に練習を重ねた、いい演奏が聞けるとおもいます。

◎実施日 平成10年9月6日(日)

本誌原稿締切り日現在、参加申込みを締切っていませんので、開催時刻は未定です。
折り込みチラシをご覧ください。

◎場所 交野市ゆうゆうセンター(交野市保健福祉総合センター)4階 交流ホール
住所 576-0034 大阪府交野市(かたのし)天野が原町5-5-1 電話 0720 93-6400
最寄駅 JR学研都市線(片町線)、河内磐船(かわちいわふね)駅下車、歩5分
JR東西線・学研都市線(片町線)の京橋、北新地、尼崎、宝塚等から直通があります。
(注)大阪駅は通りません。大阪駅に着かれたかたは、環状線外回りに乗り換えて京橋に出て、学研都市線(片町線)に乗り換えるのが便利です。西の方からJRで来られるかたは、尼崎で降りて東西線・学研都市線(片町線)に乗り換えることができます。河内磐船駅は快速がとまります。学研都市線は、以前は片町線と呼ばれていた線です。東西線は、京橋から東西に大阪市内の地下を走る新しいJR線です。いずれも少し古い地図には載っていません。ゆうゆうセンターは河内磐船駅近くのただ一つの大きい建物、西から来ると河内磐船駅の手前、進行方向の左側に見えますので、すぐわかります。京阪電車の場合は枚方駅乗り換え 交野線 河内森(かわちもり)駅下車 歩6分

◎入場料 無料

◎主催 関西ハーモニカ連盟

◎共催 四国ハーモニカ連盟、九州ハーモニカ連盟、岡山ハーモニカクラブ
広島・ハーモニカン・ファミリー

◎部門

参加者数は、本誌の原稿締切り日(5/15)現在、申し込みは締切っていませんので未定。
折り込みチラシをご覧ください。)

- I クロマチック・ソロ(クラシック)
- II クロマチック・ソロ(ジャズ・ポピュラー)
- III 複音(トレモロ、オクターブ)ソロ
- IV デュエット(ハーモニカだけ2人の演奏)
- V 小アンサンブル(3名以上6名以下)
- VI 大アンサンブル(7名以上)

参加者の氏名、曲名及び演奏順序は、事前公表は控えております。当日会場にてお知らせします。なお、演奏順序は、6/8(月)の常任理事会で、公正なくじ引き(年齢、男女別、曲目、住所地等一切考慮しない無差別抽選)により決定させていただきましたので、ご了承ください。

◎審査員

- (委員長) 斎藤壽孝 当連盟特別顧問(全日本ハーモニカ連盟理事長)
- 森本恵夫 当連盟特別顧問(プロ・ハーモニカ奏者)
- 徳永延生 当連盟特別顧問(プロ・ジャズ・ハーモニカ奏者)

小林忠夫 当連盟常任顧問（プロ音楽演奏指導者）
 吉森正隆 当連盟常任顧問（91年世界ハーモニカ大会複音の部チャンピオン）
 白鳥達夫 当連盟指導部長（NHK大阪文化センター、朝日カルチャーセンター等講師）

◎コンテスト終了後、前回（96年）の優勝者のデモ演奏を行います。

◎聴衆のかたへのご注意

コンテストですから、参加者が十分に力を発揮できるよう、次の点ご協力ください。

◎演奏中の出入りは、禁止させていただきます。

◎演奏中の写真撮影、ビデオ撮影、録音等は禁止させていただきます。記念写真を撮られるかたは、休憩時間または終了後にステージに上がって、どうぞおとりください。

◎デモ演奏、表彰式等は自由に撮影してください。◎場内の飲食は禁止されています。

◎会場の1階に食堂があります。（30席程度）昼食持参のかたは、控室でおとりください。なるべく昼食の休憩時間をとりたいと思います。

◎その他当日会場をお願いする注意事項をお守りください。

◎問合せ（主催者代表）545-0005 大阪市阿倍野区三明町2-6-10

仲村 眞 電話及びFAX 06 624-5606

または次の担当へ（4月号会報の会員名簿に住所と電話番号を記載。）

審査員係 新井善久、村田 潤

参加者係 クロマチック・ソロ（クラシック）

仲村 眞

同（ジャズ・ポピュラー）

大石喜一郎

複音ソロ

吉村 則次

デュエットとアンサンブル

田中 祥雄

受付と会計 後藤貞男、大石喜一郎、谷口昌子

PA（音響）ステージ 宇佐美進、吉見 治、吹上晴彦、楠 陽児

会場連絡係 織田太郎、今井康郎、渡辺 昇

司 会 田中 幹子



河内磐船駅へ

コンテスト会場への交通

==ハーモニカカレンダー==

- 2/22 日 徳永延生氏、日本グランプリ歌謡祭（大阪ピロティ・ホール）に審査員、伴奏のバンドの編曲指揮並びにゲストプレーヤーとして出演
- 2/23 月 西日本Hコンテスト委員会開催、応募要綱等詳細を決定した。
- 3/14 土 7pm 第778回大阪府民劇場「ハーモニカ1998」
 阪南市立文化センター（サラダホール）写真及び別記事参照
 出演 徳永延生、木谷悦子、恒川富雄、辻晋哉（以上ハーモニカ）
 越智順子（ボーカル）、宗清洋とアロージャズスペシャル
- 3/15 日 Ch.10テレビ「日曜はピアノ気分」（西村由紀江）に上本洋氏
 が出演
 トゥナイト（しずか、なるみ）の「ハーモニカ挑戦」のコーナーで彼女らにハーモニカを指導し、「故郷（ふるさと）」を吹かせた。写真参照
- 3/16 月 第2回西日本ハーモニカコンテスト応募要綱配布及び参加者（出場者）受付開始
- 3/17-18 浜松の鈴木ハーモニカ工場見学と同地愛好者との演奏懇親ツアー
 当連盟から14名が参加。17日工場見学と懇親演奏、浜松からはアンサンブル2組が出演。18日は、好天に恵まれ、鈴木楽器のマイクロ・バスにて浜松周辺の観光を行い、「うなぎ」も食べた。写真及び別記事参照。旅行の大きな目的の一つであった浜松市立楽器博物館は、臨時休館のため入れず、近いうちに行くことにしたい。
- 3/20 金 木谷悦子、思い出の'70sポップス～イエスタディ・ワンス・モア～十川尚子ファミリーとフレンズ（大阪市ドーンセンター7階ホール）に客演出演
- 3/21 祭 2:30pm 和谷泰扶、『すてきに・きもので・クラシック』
 京都市交響楽団（指揮井上道義）と共演、京都コンサートホール
 特定の聴衆のみの招待行事。齋藤壽孝氏の別記事と写真参照
- 3/22 日 2pm 小林忠夫・齋藤壽孝ジョイントコンサート 写真ご参照
 ペンタトニック・ハーモニカの世界、京都こども文化会館大ホール
 ゲスト 京都Hクワルテット、京都Hアンサンブル、ピアノ 赤井由美子
- 3/22 日 和谷泰扶、京都府文化賞及び青山財団バロックザール賞受賞記念祝賀会
 京都、からすま京都ホテル
- 4/2 木 梅田産経学園「楽しいハーモニカ教室」開講のための説明会、講師小林忠夫
 午後の部に23人（男8女15）も出席されていた。多分受講申し込みも多かったものと想像。（写真参照）
- 4/6 月 西日本ハーモニカコンテスト委員会開催、細部打ち合わせ、別記事のとおり
- 4/17 金 研修会 ハーモニカの教育・指導・運営上の問題点 第1回
 福田診療所、講師 指導部長 白鳥達夫 6名出席



98/3/15 読売テレビ「日曜はピアノ気分」
 「トゥナイト」のしずか、なるみに
 ハーモニカを教える上本洋氏

- 4/19 日 あらいなおこQuartet あいあむあいハーモニカライブ
京都市中京区ライブハウス「ネガポジ陰陽」
- 4/24 金 木谷悦子、復興支援コンサート、神戸三宮 かんしんホール 別記事参照
- 4/25 土 日本ハーモニカ芸術協会、
総会と春のハーモニカ祭り 銀座ヤマ
ハホール
- 4/26 日 全日本ハーモニカ連盟総
会、コンサート、パーティ 東京、日本
青年館

理事長による別記事及び写真のとおり、この席上、常任顧問の小林忠夫氏に日本ハーモニカ大賞が、また山村信彦氏及び村田潤氏に日本ハーモニカ賞が授与された。

昼のコンサートでは、小林忠夫氏がクロマチック・ハーモニカ・ソロ、赤井由美子氏のピアノ伴奏でクライスラーの「中国の太鼓」を演奏、また京都ハーモニカ・クワルテットがプログラムの最後に「ひばり」「ジャニーネ」「ブルガリアン・ウエディング・ダンス」を演奏、更に大きな拍手に応じてアンコールとして「タイガー・ラグ」を演奏し締めくくった。

夜のパーティのコンサートでは、山村信彦、村田潤、吉村則次、京都ハーモニカアンサンブルがそれぞれ演奏した。

- 4/29 祭 洛水ハーモニカ同好会、滋賀県立安曇川文化芸術会館、藤祭りにて演奏
- 5/3 日 松田幸一「春一番コンサート」大阪、ヒップランド
- 5/6 火 常任理事会、コンテスト開催要領、ハーモニカ祭り開催日程等打ち合わせた。

別記載の応募要綱のとおり

- 5/8 金 堺市ソフィア・スコリオ・クロマチック・ハーモニカ講座開講、講師吉村則次
堺市の広報に掲載しての20名の募集を行ったが、3倍の応募があり、抽選のうえ20名に絞って開始された。受講者の年齢は最低15歳の女子高校生から63歳まで。男6女14。年齢では10歳代1人、20歳代6人、30歳代1人、40歳代2人、50歳代7人、60歳代3人。総平均年齢43歳であった。

- 5/11 月 7:30pm 松田幸一「Voice of Harmonica '98」ウメダ・ヒートビート

- 5/12 火 和谷泰扶リサイタル、パッハからコンテンポラリーへ
東京オペラシティ、ピアノ野平一郎、チェロ藤森亮一

- 5/15 金 小林忠夫、ラジオ大阪の桂九雀のトーク番組（生出演）に出演

- 5/17 日 京都ハーモニカクワルテット、ソロコンサート
三重県阿山郡島ヶ原村、総民会館ふれあいホール

- 5/19 火 小林 忠夫、ハーモニカと落語の夕べ、吹田メイシアター小ホール

- 5/23 土 京都ハーモニカクワルテット、コンサート 大津市、しがぎんホール
「第18期しがぎんホールで音楽を楽しむ仲間達の会～妙なるかな六夜の宴～」

- 5/28 木 関西ハーモニカポップス友の会「みんなのハーモニカコンサート」
府立文化情報センター、多目的ホール 24人（組）のかたが演奏されました。
今回は、従来と異なり、平日の午後に行われました。

- 5/29 金 第2回西日本ハーモニカコンテストの応募を締め切った。

申し込み数等詳細は、折り込みチラシのとおり

- 5/31 日 F I Hコンテスト、東京、神田パンセ、問、F I Hモリダイラ楽器



佐藤さん（右、会主）ナンデ部屋の中で傘をさしてるの？
岩崎さん（左、理事長）ナンデ頭下げてるの？
真ん中は柳田氏

（4/25日本ハーモニカ芸術協会総会にて）

←森本恵夫氏の寸評ご参照

大阪030 1314

3.00 桂九雀のじゃーなる
「ハーモニカと落語
・小林忠夫」

- 6/7 日 徳永延生ハーモニカ教室発表会及び徳永延生ライブ
心斎橋、国際楽器ホール ゲスト、越智順子(vocal)ほか
6/8 月 コンテスト委員会開催、参加者数確定、出場順決定、開始時刻決定等
6/12 金 研修会 独奏指導の問題点 講師 指導部長 白鳥達夫

これからの予定

- 6/17 水 ハーモニカ祭り実行委員会
6/20 土 9am 日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会主催コンサート
尼崎市のアルカイックホール・オクト。同封プログラムのとおり。
7/23 木 和谷泰扶、中南米音楽祭、東京カザルスホール
7/26 日 和谷泰扶セミナー、京都十字屋
詳細はJEUGIA又はモリダイラ楽器ヘチラシをご請求ください。
7/24 金 6pm 研修会 合奏の問題点 講師 指導部長 白鳥達夫 於、福田診療所
8/7 (金) から9 (日) マレーシア第2回アジア・パシフィック・ハーモニカ大会
参加旅行は8/5出発 別記事参照
8/14 金 ハーモニカ祭り(10/25)申し込み締め切り
8/15 土 10月号会報原稿締め切り
8/24 月 ハーモニカ祭りプログラム決定
8/29 土 NHCコンサート 東京 新宿朝日生命ホール
9/6 日 第2回西日本ハーモニカコンテスト 交野市ゆうゆうセンター
申込みは、5/29締め切り済、参加者数、開始時刻等は折り込み別紙のとおり。
9/13 (日) - 15 (祭) 徳永延生ハーモニカ教室サマーセミナー
奈良県吉野郡下北山村上池原 下北山スポーツ公園、2泊3日ハーモニカ漬け
参加者募集中 申し込み及び問、徳永06 934-7266
9/16 水 10月号会報発行 通常は月曜発行ですが今回のみ水曜日発行となる。
ハーモニカ祭りプログラム送付
10/10 祭 会員の榑崎義男氏指導の教室の発表会 堺市泉ヶ丘 延寿荘
10/24 土 佐藤秀郎生誕百周年記念「佐藤ソロ・コンサート」 東京
10/25 日 ハーモニカ祭り 守口市 エナジーホール
電話06 992-1276、京阪守口駅歩3分、地下鉄守口駅歩10分)
応募要領別記事のとおり。
10/25 日 日本ハーモニカ芸術協会(佐秀会)定期演奏会 東京ヤマハホール
10月31日(土) 出発、11月4日(水) 帰国 ホノルル懇親演奏旅行
詳細は、4月号ご参照。一応申し込みは締め切っており、準備を整えておりますが、参加を考慮しておられるかは、とりあえず副理事長吉村則次(電話及びFAX0722 51-9398)あてお知らせください。追加を検討します。
11/7 土 関西ハーモニカポップス定期演奏会 淀屋橋朝日生命ホール
問、0726 95-0654 入江
11/14 土 会報99/1月号原稿締め切り
12/14 月 会報99/1月号発行 定期総会招集通知、年会費請求等

98/5/13 朝日 夕刊

●ハーモニカと落語の夕べ
19日午後7時、吹田市の吹田メ
イシアター(阪急北千里線・吹
田駅そば)。落語は枝雀門下の
九雀、ハーモニカは1931年生ま
れで、今年日本ハーモニカ大賞

を受賞した小林忠夫の出演。問
い合わせは06-845-8636(落
語工房)へ。

落語2席とハーモニカ演奏6
曲のほか、九雀、小林のトーク
も。さらに九雀が小佐田定雄作
の落語「ハーモニカの伝来」を
演じる。昔話風でハーモニカ演
奏のはめ物が入る。2000円。



関西ハーモニカ連盟主催
第9回ハーモニカ祭り
参加者募集

事業部長
(飛田 保雄)

今年度の恒例の当連盟主催のハーモニカ祭りは、98/5/6開催の常任理事会で、詳細及び募集要項を、次のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

ソロ演奏者として、あるいはアンサンブルのメンバーとして、あるいは又聴衆として奮ってご参加ください。

日時 98/10/25 日 開始時刻は後日決定

場所 守口市 エナジーホール 席数 436

住所 守口市河原町8-22

電話 06 992-1276

最寄駅 京阪守口市駅歩3分、地下鉄谷町線守口駅から歩10分

主催 関西ハーモニカ連盟

後援 ハーモニカ各団体(折衝中)

入場料 無料

問い合わせ等 事業部長 飛田保雄 0774 41-6568 FAX 0774 43-3789

又は下記の連盟各実行委員へ



演奏参加要領

申し込み締め切り 98年8月14日(金)振り込み

申し込み方法

お近くの郵便局から郵便振替用紙により下記の当連盟の口座に負担金を振り込みください。「通信欄」(複写式の場合は2枚目にあり)に曲名、作曲者名、編曲者名、所要時間、楽器の種類、伴奏の有無等、必ず記入ください。その他希望事項があれば記入ください。

これ以外の、文書や口頭による申し込みは原則として受け付けません。

アンサンブルにお申し込みのかたには、入金確認後会計部長より「アンサンブル記入用紙」をお送りしますから、それにメンバー名、楽器名、配置等を記入し、事業部長あてお送りください。

振込先 郵便振替口座 00950-6-115527

加入者名 関西ハーモニカ連盟

演奏時間及び出演者分担金

ソロ	1曲5分以内	5000円
デュオ	5分以内	7000円
3人以上6人以下のアンサンブル	8分以内	12000円
7人以上のアンサンブル	8分以内	15000円

アンサンブルの人数には指揮者、ピアノ、ドラムス等の伴奏者の人数を含みません。

実行委員(順不同)

仲村理事長、田中副理事長、吉村副理事長、飛田、大石、村上浩、宇佐美、後藤、入江、吉見治 以上10名

”すてきに きもので クラシック” 和谷泰扶さんがユニークなコンサートに出演

特別顧問 齋藤 壽孝

私は、去る3月21日（土）、22日（日）の二日間、京都でユニークなコンサートを二つ体験しました。

ひとつは、私自身が出演した”小林忠夫・齋藤壽孝ジョイント・コンサート——ペンタトニック・ハーモニカの世界”でしたが、この方は、どなたかがお書きになると思うので、私は、3月21日（土）に開かれた”すてきに きもので クラシック”のコンサートの方をご報告しておきます。

このコンサートがどうしてユニークかという、和服を着て行かないと会場に入れてくれないからです。主催の京都市では、こう言っています。「きものの似合うまちと呼ばれる京都でも、きもの姿の方を普段お見かけすることが少なくなってきました。（中略）京都市では、このコンサートがきっかけとなって、より多くの方が普段からきものに親しんでいただくようになり、きものの輪がますます広がっていく願いを込めて、このコンサートを開催しています」。

今回で6回目となるこのコンサートは、井上道義さん指揮の京都市交響楽団をベースに、毎回ゲストを招いて開かれています。今回のゲストは、ハーモニカの和谷泰扶さんとマリンバの通崎睦美（つぎき・むつみ）さんのお二人で、共に「京都府文化賞奨励賞」を受賞されているばかりか、幼い頃は共に小林忠夫先生に師事され、その才能を磨いていたことがあったそうです。

私は、お二人の育ての親である小林忠夫先生とご一緒に、このコンサートを聴かせていただきました。

和服は、ご厚意で、田中祥雄さんからお借りしました。会場の「京都コンサートホール（大ホール）」は、まことにこの催物にふさわしい気品の高い立派な会場でした。

はじめにオーケストラだけの演奏が2曲あって、和谷さんはベンジャミンの「ハーモニカ協奏曲」の第一楽章「ロマンス」、ムーディの「トレド」を独奏、マリンバとのデュエットでは、新しく編曲された「さくら・さくら」を演奏されました。

オケ伴の「トレド」は生で初めて聴きましたが圧巻でした。どの曲も、のびやかでしなやかで、透明感のあるクロマチック・ハーモニカの音色が、フルメンバーのオーケストラを向こうにまわして、その存在感を主張していたのは流石でした。客席からは、惜しみない称賛の拍手が、音楽家としての和谷さんに寄せられていました。

コンサートが終わって外へ出ると、冷気が頬を伝ってヒンヤリと心地よく、その割には身体はポカポカとしていました。

「きものって、案外と温かいのね？」

誰かが言いました。「そうじゃないんだ、音楽が気持ちを満たしてくれたから、身体まで温かいのさ」と私は、心の中でブツブツと言いかえしながら帰路につきました。

（写真、同コンサートにて、左、和谷泰扶（ハーモニカ）と通崎睦美（マリンバ）を育てた名伯楽・小林忠夫氏、右、筆者）



森本 恵夫

日時 1998年5月12日(火) 19:00開演
 会場 東京オペラシティリサイタルホール(新宿区初台)
 共演 野平一郎(ピアノ) 藤森亮一(チェロ)
 主催 東京オペラシティ文化財団
 協賛 第一生命保険相互会社

B→C

緑風爽やかな5月の一夜開かれた和谷泰扶氏の久しぶりの東京でのリサイタル。約400の席は満席でB→C(バッハからコンテンポラリー(現代曲))と表題されたコンサート。期待のうちに演奏が始まる。

- | | |
|----------------|-----------|
| 1、ルーマニア幻想曲 | F. シャグラン |
| 2、ソナタ短調BWV1030 | J. S. バッハ |
| 3、ソナタハ短調 | F. ドヴィエンヌ |
| 4、パンの笛 | J. ムーケ |
| 5、トリオ | G. ドニゼッティ |
| 6、ハーモニカ協奏曲 | A. ベンジャミン |
| アンコール マラゲーニャ | レクォーナー |
| ピアソラの曲? | ピアソラ |

ハーモニカ
 Yasuo Watani harmonica
和谷泰扶

以上のようなプログラムで進められたが、非常に高度なテクニックを要する曲の連続であるにもかかわらず、いずれもミストーンのない、珠玉のように磨き抜かれた演奏だった。

クロマチック・ハーモニカで、バイオリンやフルートの最高技術に匹敵する演奏をきかせてくれた和谷氏の精進には、頭の下がる思いがする。

しかし、一方別の観点からみたとき、いくつかの問題点が考えられる。

1、選曲について。

究極のレベルを追求することは大切だが、発表に当たっては、もっとポピュラーなセミクラシックの曲を組み込む必要がある。(それは、ハーモニカとは何か、その分相応を考えると発表の方法に一考を)

2、音量のバランスについて。

以前、本誌にも書いたことだが、いくら名演奏でも、聞こえなければなにもならない。響鳴体の大きい楽器から出る音と、ハーモニカとでは、音のエネルギーが違うということの認識と、蚊の鳴くような音で聞こえても、それは聞こえようと入らないということを理解しないと、ハーモニカの評価が、その分大きくマイナスされてしまう。

(原音についての過大評価とマイクに対する偏見が禍か。)

3、ルックスについて。

アンコール曲は2曲とも、目をつぶって演奏されたが、ライブは目と耳で楽しむものなので、暗譜した曲でも目をあけてほしい。(時折瞑想的に目を閉じるのは当然ですが。)

以上所感の一端を申し上げましたが、和谷氏は我々の為し得なかった高い境地を開拓された日本の誇りであり、今後益々のご活躍を祈りたい。

和谷泰扶

和谷泰扶が東京でリサイタル
世界を舞台に広がる
ハーモニカの世界



★ Yasuhiro Watanabe / ハーモニカ

ハーモニカというとは、日本では幼児体験として多くの人が一度は手にしたはず。今では懐かしい感じさえする楽器だ。

ハーモニカ奏者の和谷泰扶は同志社大を経て、ドイツのトロワシゲン市立音楽院を卒業。演奏活動のかたわら、91年からはホーナー・コンセルヴァトリウム(旧、トロワシゲン市立音楽院)で後進の指導にもあたっている。

「トロワシゲンはハーモニカ発祥の地ですが、現地の人に『楽器は何をやっているんですか?』と聞かれて『ハーモニカです』と答えると、何故、ドイツまでわざわざハーモニカの勉強に? というような不思議そうな顔をするんです。ハーモニカは知られすぎていますだけに、楽器としての評価が低いようです」

和谷は、学校の先生たちにハーモニカを教え、その普及にも力を注いでいる。教えられたことを先

生たちが学校にもどって子供たちに教える……。これは大きいですよ。学校の先生は普通、ピアノ以外の楽器の演奏は要求されませんから。どうしてもその先生が最短コースで上達していくかをいつも考えます。公的な機関も一緒に動いてくれないと楽器の普及はなかなか難しいですから」

日本では、これまでに井上道義指揮、京都市交響楽団などと共演「オーケストラと共演するときマイクを使います。本当は生音で勝負したいのですが、盛り上がる場所でも、ハーモニカの音に合わせて、オーケストラが、pで弾いては……」

和谷は「クロマティック・ハーモニカ」と呼ばれるハーモニカを使っていて、普通に想像されるハーモニカとは構造が異なり、小さなレバーを操作することで、半音高い調に移行することができる少々複雑な楽器だ。この楽器が最も盛

んなのはドイツで、ミヨーやウィラ・ロボスなどはこの楽器のためにオリジナル曲を書き残している。「クラシック音楽で、ほかの楽器をやっている人たちにも、ハーモニカの魅力をアピールしていきたいですね」

5月には野平一郎(ハジ、藤森亮一(VG))をパートナーに迎え、東京でパワハなどの作品のアレンジものなどを集めてリサイタルを行

なう。野平との共演によるCDもすでに出ている。ハーモニカの作品はまだまだ少ないと思います。そのためにも、作曲家の人たちともっと一緒に仕事をしたいなと思うし、逆に作曲家がハーモニカのために曲を書こうと思ってくれるような、いい演奏をしないといけないと思います」と意欲満々。リサイタルにも期待が高まる。

技高めて独に恩返し

関係を持っており、和谷泰扶さんは「ホーナー・コンセルバトリウム」の主任講師をしている。

和谷さんがハーモニカに出合ったのは、小学校一年生の時。兄とともに教育楽器として習い始めた。高校でカルテットを結成、同志社大学に進んでハーモニカクラブに属した。家業の和ろうそく屋さんを継ぐはずだったが、欧州演奏旅行で世界

のトップ演奏者の音を聴き、レッスンを受けて本物を知ったという。ひそかにドイツ語を習い、念願のトロワシゲンの町へ留学を果たしたの一九八四年。八八、八九年には世界コンクールで一位となり九一年、恩師ヘルムート・ヘロルド氏のあとを継いで講師となった。

「ハーモニカの魅力はやはりその音色。心にしみ、懐かしさでしょう」

「ハーモニカの魅力は、世界を飛び回っているため時差ほけに悩むそうだが、今年一月、京都府文化賞奨励賞を受賞した。



心にしみる懐かしさ、その音色が魅力



南西ドイツにトロシ
ンゲンという町がある。ハ
ーモニカ発祥の地であ
る。十九世紀半ば、この
地で生産されたしたハー
モニカは、移民とともに
アメリカへ渡り、爆発的
に広まった。カウボーイ
たちの哀愁をたたえた音
色となったのだ。

トロシンゲンには現
在、ホーナーという世界
一のハーモニカメーカー
がある。町の人の約七割
がハーモニカと何らかの



世界を駆けるハーモニカ奏者

わたに やす お
和谷 泰扶さん



84

コンサート、コンサート、コンサート

吉村 則次

ハーモニカ奏者4人揃い踏み

—レベルの高い「ハーモニカ1998」、3/14阪南市サラダホール—

財団法人大阪府文化振興財団主催「第778回（大阪）府民劇場・ハーモニカ1998」と題したコンサートが、大阪のはるか南、むしろ和歌山県に近い阪南市の文化センター・サラダホールというところで行われた。ちなみに、このサラダは食べ物のサラダではなく、皿田池という池のあとに作られたから、そう命名されたとのこと。

第1部は、コードとバスを含めたハーモニカのカルテットとハーモニカソロ、第2部は、関西を代表するトロンボーン奏者の宗清洋（むねきよ・ひろし）氏、徳永延生氏のハーモニカに、これまた関西を代表するジャズボーカル越智順子を加えた豪華なコンサートであった。バックはこれまた関西のベスト・メンバーで構成されたピアノ、ベース、ドラムスのトリオ。

第1部のメンバーは、当連盟特別顧問の徳永延生氏（クロマチック）、当連盟会員の木谷悦子氏（クロマチック）と同辻晋哉氏（バス）、それに恒川富雄氏（コード）。

曲目は、ギャロピン・コメディアンズ、母さんの唄、熊蜂の飛行、マリアエレナ、鈴懸の径、コンドルは飛んで行く、セレソローサ、水鳥のサンバ、愛は夢の中に、オルフェのサンバであった。

第2部は、徳永延生氏のハーモニカを中心として、トロンボーンとジャズボーカルを加えた豪華なライブで、「キャラバン」から「ルート66」まで9曲を吹きまくった。

総合的に見て、ハーモニカを中心にした、非常にレベルの高いコンサートと言え思った（写真参照）。しかし、大阪から遠いという理由と宣伝不足のためか、豪華な700席のホールは、やや空き席が目立った。うれしかったことは、三重県や京都という遠方から来られたかたも多かったこと。

ペントニック・ハーモニカの世界

小林 忠夫・斎藤 壽孝 ジョイントコンサート

98/3/22 京都こども文化会館大ホール

（入江章次氏の記事もご参照）

ペントニック・ハーモニカという珍しい名前をつけたコンサートであった。ペントニックというと、音楽家のかたも、複音ハーモニカのかたもよくご存じの、5つの音からなるスケール（通常は下からシまでの7音であるが）、ドレミソラのスケールで、日本の歌に、このスケールがよく使われている。

コンサートの名称どおり、ペントニックハーモニカを使っの、小林忠夫、斎藤壽孝（このハーモニカの開発者と聞く）の演奏を中心とし、客演として京都ハーモニカクワルテット及び京都ハーモニカアンサンブルを迎えたコンサートであった。

なお、演奏も良かったが、PA、照明ともよく準備され、スムーズに進められた。各係との事前打ち合わせが綿密に行われたものと思う。特に司会が、声の質、明瞭度、態度、話す内容等非常に良かったと思った。

木谷悦子、復興支援コンサート

4/24 神戸市「かんしんホール」

別に掲載のとおり、このコンサートの記事が事前に神戸新聞にも載ったためか、非常に多くの聴衆が詰め掛け、約200の席が一杯であった。ギター及びベースの伴奏でジャズを演奏し、神戸のお客さんに感銘を与えた。

松田幸一、コンサート

5/11 大阪市「ウメダヒートビート」

このかたは、現在は埼玉県に住んでおられるが、大阪の日本橋の出身である。過去においては、大阪出身の堀内孝雄氏（前号43Pの小林敬氏の記事ご参照）や同じく大阪出身の谷村新司氏らと一緒に演奏をしていたこともあると聞く。また、泉谷しげる、アリス、イルカ、中島みゆき、太田裕美、加藤登紀子等のバックを務めたこともある。

大阪出身なので、大阪の気持ちを深く持っておられ、大阪で演奏するのを非常に楽しみにしておられる。

当夜は、おおむねやかましく、ときには静かに、ブルースハーブをきれいな音で演奏された。

ブルースハーブといっても、このかたのは泣き叫ぶブルースだけではなく、ケルト（Celtic=アイルランドや北欧等に多いのケルト民族）のダンス音楽、14-6世紀の古いダンス音楽をも好んで演奏されるので、やかましいブルースが嫌いなかたも楽しめる。

当夜も16世紀の舞曲、ケルトダンス音楽、それにピアソラのタンゴやアメリカの黒人霊歌等も演奏された。楽しいコンサートであった。



日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会 第12回ハーモニカコンサート 岩崎重昭氏、森本恵夫氏も特別参加

日時 98/6/20(土) 1100開場、1130開演
場所 尼崎市 アルカイクホール・オクト
住所 尼崎市昭和通2-7-16
電話番号 06 487-0810
交通、阪神電車 尼崎駅 東北へ400m
主催 日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会 会長 平口 謙二
入場料 無料
問い合わせ 事務局長 後藤 貞男
596 岸和田市春木旭町36-17 電話及びFAX 0724 41-0552

石川澄男氏がハーモニカCD

日本ハーモニカ芸術協会大師範、愛知県在住の石川澄男氏が「複音ハーモニカ名曲選」というCDを6月初旬発売。税込み2500円。希望者は下記へ
448-806 愛知県刈谷市松栄町3-2-4、刈谷ハーモニカ音楽研究会FAX0566-27-5938

「編曲」とは何か？

森本恵夫さんへ

吉村 則次

複音ハーモニカにおける「編曲」とは何を指すのか

前号（98/4号）P21掲載の「編曲・偏曲・変曲について考える」、非常に興味を持ちました。

私は、クロマチック愛好者ですから、だいたい作曲者が作曲したとおりに吹く、というのが基本で、編曲については特に気にしませんが、複音ハーモニカにおける「編曲」とは何を指すのか、ということについて私は常に疑問を持っています。

森本恵夫さんは、「複音ハーモニカのための無伴奏独奏用編曲」に限定して述べられておられますが、さて、それがなにを指すものであるのかは、特に定義づけしてはおられません。

まず、複音ハーモニカ独奏における編曲とは何か、偏曲とはなにか、変曲とはなにかについては、範囲を決めておかなければ、ディスカッションにならないと思います。

「そんなの分かりきったことではないか」と言われるかも知れませんが、複音ハーモニカのための無伴奏独奏用編曲というのは、他の楽器では考えられない特殊なもののように思います。

一般の編曲とはというのは、基本的なメロディがあって、それに伴奏をつけるとか、ハーモニーを考えてアンサンブル用にパート譜を作るとかすることをいうのだと思いますが、「伴奏なしの独奏用編曲」とは、あまり聞きません。「バガニーニの主題による変奏曲」というように、ある人の作曲したメロディを「借りて」作曲することはあるかも知れませんが。

ジャズやポピュラーの世界で、コード進行に乗せて、適宜「アドリブ」したり、「オブリガート」を入れたりするのは、いちいち編曲とは呼んでおりません。

複音ハーモニカ音楽あるいはその演奏における「編曲」という言葉が、なにを意味するのかについて、多くの複音ハーモニカ奏者自身も理解されてないので、氏が言われる変曲、偏曲をも編曲と呼んで乱用されているようにも思います。

森本恵夫氏の文章を読んで、多分次のようなことを複音ハーモニカのための無伴奏独奏用編曲と呼んでおられるのではないかと私は思います。

「編曲」と思われるもの。

◎使うハーモニカを途中で持ち替えることを指定し、そのハーモニカの調子に合った数字譜に書き直す。

◎どこでベースを入れる、大ベースを入れる、小ベースを入れる、どこで分散和音を使う、というような演奏方法を指定する。

◎ハーモニカでできないところを簡略化するとか、変える。

◎適当な前奏、あるいは間奏を入れる。

◎アドリブを入れる。メロディそのものを変える。

「**編曲**」ではないと思われるもの。

ある基本的なメロディがあったとする。これを、メロディは変えないで

◎数字譜に直す。

◎強弱を指定する。

◎使うハーモニカのキーを指定する。(途中持ち替えも、原曲のキー符号が途中変更されているので、そのキーのとおりハーモニカに持ち替えるという場合は、編曲ではないが、曲の途中でキー符号は変わっていても(事実上シャープやフラットがつけられて)キーが変わっていると認識され、ハーモニカを持ち替えることを指定するのであれば、それにともしない和音も変わってしまうので編曲だろう。)

◎ハーモニカでできないところをごまかす。

◎どこをバイオリン奏法にするとか、マンドリン奏法にするとか、トリルにするとか、ハーモニカをゆらすとかの演奏方法を指定する。

◎(五線紙をそのまま使う場合で)ハーモニカに都合が悪いので、キーを変えて書き直す。

◎誰かが入れたアドリブ演奏を聞いて、そのままコピー(まね)して演奏する。

(この場合、最初の演奏者が編曲者で、採譜する人も今演奏する人は編曲者ではない。)

なるべく原曲どおりに吹くべき

私の基本的な考え方は、次のとおりです。ある人が作曲したものを演奏する場合

原則。 音楽は作曲者が書いたとおりに(もし、強弱の指定をしておれば、それをも含め)なるべく忠実に、そのキーで演奏すべきである。それが作曲者に対する敬意というものであろう。

森本恵夫氏も「原曲のメロディーを損なってはいけない」と述べておられ賛成である。半音省略なんて、言語道断である。ただし、楽譜というものは、基本を示すための記号であり、正確に演奏方法や感情までもを指定しているものではないので、ある程度の変更は許される。例えば2分音符があったとしても、これをその長さどおりにずっと鳴らさなければならないというわけではない、4分音符の長さを鳴らして、後は自然に減衰させる、とか、「当たり(アタック)」だけ鳴らして、後は聞こえるか聞こえないか、というようにしても、これは編曲には当たらない。また、例えば、8分音符2個の音符(♪♪)のそれぞれの比率などは、楽譜で表せるわけはなく、(♪³) (♪³♪) (♪♪) (♪♪)等表示してあるものもあるにはあるが、演奏者にまかされていると考えられる。また、装飾音符をつけるくらいも許されていると考えられる。

ハーモニカで技術的に演奏出来ない曲は、キーを変えて(たとえばCをEbに)、それを別のキー(Cの楽譜をEb(短3度上)に書き直したら、A(短3度下)のハーモニカを使う)のハーモニカで演奏する。こうすれば結果(出る音)が正しいので許されると思う。複音における移動ド方式(楽譜を移動ドで書き直し、ハーモニカをその正しいキーのものを使う)も同じ。

ごまかしたりキーを変えたりするくらいなら、作曲者に対し、冒涇になるので、演奏を止めるべきである。

ただし、ポピュラー曲は、作曲者が、演奏者によってキーも内容もある程度変えられること、キーも変えられることを予測しており、またそれが当たり前となっているので、変えることは差し支えない。

作曲者と同じ人が 編曲者となることがあるか。

ある曲を作曲した人本人が、それを、自分自身で演奏（自作自演）するとき、それに飾りを入れたり、変化させたりして演奏することは当たり前である。ジャズにおいては、それが普通の演奏方法ともいえる。これは編曲といわれるものではない。

人のものを編曲した訳ではない（自分のものを自分で変えた）のだから、これも作曲の延長と言われるのではないか。作曲者と編曲者が同じ名前というのはどうも変に感じる。

編曲者の名前はどこまで表示すべきか

演奏会のプログラムに編曲者の名前を入れるのは、その人に対する敬意として、（あるいは該当する場合は）著作権料の支払いのため、当然のように思われるが、一般の演奏会では入れてないものも多い。

複音ハーモニカの演奏会では、編曲者の名前を入れるのが当たり前のようで、たまたまその中にクロマチックの演奏があって、作曲者が作曲したとおりに演奏するので「編曲者というものはない」と言うと、逆に複音のかたから変な顔をされることさえある。

複音ハーモニカにおいて、作曲者より（複音ハーモニカのための）編曲者を重要視（作曲者名は忘れていても編曲者名は覚えているというかたも多くおられる）するのは本末転倒であると思う。あくまで作曲者が作曲した曲があって、それを編曲する者があるわけであるから、編曲者はあくまで二次的なものであろう。

複音ハーモニカの場合は、他の世界のことは異なり、森本恵夫さんが言われるように、「時には作曲に相当する価値がある場合さえあり」「演奏を生かすも殺すも編曲次第」ということなので、編曲者が重要ということは認めたいが、私はやはりどちらかと言えば編曲者より作曲者を尊重したい。

複音ハーモニカ特有のこととして、この曲は、何人ものかたがハーモニカ用に「編曲」されているので、私が吹くのは、「Aさんの編曲ではなく、Bさんが編曲したものですよ」という区別の意味も込めて、編曲者の名前を表示する場合もあるようである。

また、ハーモニカの場合、編曲者が普通は非常に身近におられる人であるから、ひょっとすると自分の演奏がその人に耳に届くかも知れない、だから編曲者の名前を入れて敬意を表しなければ、あとでばれると気まずい思いをするから入れておこう、という理由もあるかも知れない。

本当に編曲者に敬意を払うなら、段階を経て編曲して来た人全部の名を上げてあげなければならぬと思う。作曲者が作曲したある曲があり、これをA氏が編曲し、これをB氏が更

に動かし、更にC氏がピアノ伴奏譜を作り、D氏が完全な形の合奏譜に置き換えたというなら、AからD氏まで総ての人を上げなければならない。しかし、事実上そんなにたくさんの名前を挙げるのは困難なので、最終の編曲者の名前だけを挙げているようである。

一般愛好者の演奏会で、ハーモニカ演奏者自身を編曲者として、プログラムに記載されているかとも見られる。

これは「失礼ながら勝手に少し変えさせていただきましたよ」という意味なのか、「私は編曲者としての能力があり、これは私自身が編曲したものです」という意味なのか。

ハーモニカで演奏する場合、多かれ少なかれ何らかの変更を加えていることが多く、これをいちいち編曲というなら、すべての曲について演奏者が編曲者であると言わねばならない。

仮に、ある曲を、Aという人が複音ハーモニカのために数字譜に直し、ベースの符号を入れ、使用するハーモニカを指定した楽譜を、Bさんが演奏するに際し、指定したキーのハーモニカがないので、特定の部分のみ、指定された以外のキーのハーモニカを使用し（もちろん、移調はするからメロディは正しい訳だが、ベースを入れると、異なるベースが出る）、16分音符の難しいところができないので、半音をごまかした場合に、編曲者としてA及びBを挙げるべきか。もしAのみを挙げると、Aさんはあんなお粗末な編曲をしているのかと聴衆に感じられ、Aさんに対し失礼に当たるし、A及びBと挙げると、Aという大先生と自分が肩を並べるようで、これまた失礼な話になる。

複音ハーモニカ演奏において演奏者は

編曲者に対してどのように対処すべきか

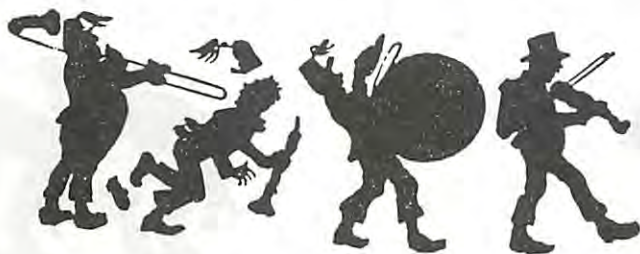
編曲者がJASRAC（日本音楽著作権協会）に所属しておれば、JASRACに演奏することを申請し、著作権料を払えば、その編曲者にも、なにがしかのお金が行くものと思う。そうすれば、後ろめたい気持ちを持たずに演奏できる。しかし、複音ハーモニカ用に編曲をしている編曲者は、通常JASRACには所属していない。それでは、どうするのが礼儀だろうか。

プログラムに編曲者名を載せれば、それで礼儀は果たせたといえるだろうか。

印刷され出版されているハーモニカ曲集に掲載されている楽譜は、楽譜を購入するときにお金を払っているので、無料で演奏することは、なんら問題ないというのか。編曲者も、出版する時点で、これを予期しているのだろうか。

もし、これが印刷されたものではなく、コピーコピーコピーで手に入った曲を演奏する場合はどうなのだろうか。お金は払わなくても、一応こうこういう場所で、いつ演奏させていただきますということを一筆入れるべきではないだろうか。

しかし、もし仮に、これが編曲者の編曲どおりに演奏できないような演奏者だったら、編曲者の名前を挙げられることに顔をしかめるのではないだろうか。（聴いた人は、このかたはこんな変な編曲をしたのだろうか？と考える恐れがある。）いわゆる「困った問題」となる。



さらに進んで

編曲者は作曲者に対してどのように対処すべきか

編曲者は、作曲者が作曲した貴重な曲を、変えさせていただくわけであり、ややもすると作曲者が作曲したものからはかけはなれる場合がある。あんまりいじくってもらいたくない、と考えている作曲者もいることだろう。そんないじくりかたは困ると顔をしかめる作曲者もいるだろう。

そこで、作曲者の了承を得ずに編曲していいものかどうか、編曲した場合は、このように編曲させていただきましたよ、と作曲者（過去の人であればやむを得ないが）に知らせる必要があるのではないか、という疑問が残る。◎



続 編曲、偏曲、変曲について考える とっておきの話 [9]

関西ハーモニカ連盟 特別顧問 森本 恵夫 (よしお)

前回の会報で「編曲、偏曲、変曲について考える」という所見を述べたところ、編集局長の吉村則次さんから、大変貴重なご意見をいただきました。

成る程ごもっともなご質問でもありますので、私の言葉の足りなかった点を反省し、補足させていただきたいと思います。

まず、「複音ハーモニカのための、無伴奏独奏用編曲」という命題について説明しましょう。

一般的に編曲というのは、二つに大別されます。(1)原曲の原形を損なわずに、編成を変える場合。(2)演奏上の目的で行われる改編で、これには編曲者による創作的要素が加わることが多いのです。殆どの場合、演奏に当たっては、その楽器のためのオリジナル曲があるので、いちいち編曲という手段をふまないですんでしまうようです。

ところで、複音ハーモニカという楽器に目を転じて考えてみましょう。

先ず、この楽器自体が、他楽器と大きく異なることに注目しなければなりません。

その第一は、吹き吸いで音を出す楽器だという点です。

そして第二は、長短24種の違った調子を持つ完全移調楽器だという点です。

第三は、演奏に当たって、ベースなどという特殊な技法によって、変則的な和音を伴ったリズムを入れる「無伴奏独奏」という形式で普及されて来た楽器だと言う事実です。



ところで、音楽の三要素としては、メロディー、リズム、ハーモニーがとり上げられますが、通常単独でこれらの三要素を満たす演奏が出来る楽器は、キーボードかギター位しかなく、あとは他楽器の補助を受けながら、演奏を行わなければなりません。

ところが、わが複音ハーモニカに於いては、満足な和音も出せないのに、無伴奏で独奏をやるとういのですから、身の程知らずと言われても返す言葉がありません。

しかし、“わかっちゃいるけど、やめられない”のが複音ハーモニカ独奏の魅力です。

無いソデを振り振り、それらしき演奏をしようとヤッキになっているのがこの世界。

そのために「複音無伴奏独奏」に当たっては、一曲一曲編曲という作業が必要になって来るのです。

この場合の作業というのは、メロディーの部分についてはバリエーションや奏法の指定などがあり、ハーモニーについては、なるべく原曲に近い和音を出したり、特殊効果を出すために必要な併用ハーモニーの指定をしたり、そしてリズムについては、効果をねらうベース、和音分解奏法の取り入れ等々が、主な編曲の操作と言えるでしょう。

以上は、編曲の大すじの話で、オクターブの上下や移調は編曲に入れるかどうかというような細かい問題については、ここではふれないよことにしましょう。

大ざっぱに「複音ハーモニカの無伴奏独奏」について述べてきましたが、要はこれがその楽器の音楽性を左右しかねない問題なので、より良い編曲というものが要求されてくるのです。

困るのは、和声学や対位法の基礎も勉強しないで編曲に取り組む方、半音も転調も無視して数字譜への直訳を編曲だと称する人々が多いことです。こういう人のかかった編曲を演奏すると、複音独奏自体が蔑視されてしまうのです。こういうたぐいのものを偏曲、変曲とヤジったので、辞書を引いてもこんな単語は存在しません。語呂合わせのジョークとおとりください。

要するに、出ない和音を無理やり出そうとあがいてみても、しょせん無いものねだりの子守歌、それなら一そ伴奏付でメロディーだけを美しく奏する事に努力を集中させる方が本すじではあるまいか？と言ってしまえばハイ、それまでよ、ポヨヨ〜ンで、実もふたもありません。無いものを質屋通いで四苦八苦するのもまた楽しからずや、というのが無伴奏複音のダイゴ味というものではゴザンせんか。

三要素を揃えても無感動な演奏が氾濫しています。三要素の一部が多少キズがあっても、そこから感動ある音楽を引き出そうとすることは、いけないことでしょうか？

そこに可能性を求めて、今日も無伴奏複音独奏にチャレンジを続けているのです。

☆編曲という問題から端を発して原曲との関係、作曲者との問題、編曲の許用範囲、編曲者同志間の問題、掘り下げなければならない問題は山積みしていますが、今までこういう議論をした例がありません。

これを機会に、皆さんがこの問題について深く掘り下げてご議論いただく事を願っております。

以上述べた範囲では、吉村編集局長のご質問に十分答えたことになっておりませんが、折りを見てまた意見を述べさせていただきたいと思えます。

さよなら、さよなら、さようなら！！



レターボックス

会員等からのお便りと質疑応答

(到着した日にち順)

98-2-14

チェン・バー・ファンのハーモニカ

チェン・バー・ファンのCD、「Music that Touches the Heart」を購入しましたが、そのジャケット載っているハーモニカは購入できませんか。

旭川市 小野 泰弘

あれは、チェン・バー・ファンが自分のために自身で製作したもので12穴のCham-Ber Huang Concert Chromatic, Sterling Silver CBH といえます。

自分のために作ったものなので、一般には売られておりません。以前ホーナーから売られていた同氏設計のCBH2012という黒いハーモニカがありましたが、レバーの位置、カバーが1音1音別々のトンネルになっている点等、このハーモニカによく似ているように思います。ただしこの本体の材質は銀です。チェン・バー・ファンは自分で金属加工道具を持っており、自分でよく改造したりしています。かなりの費用を払えば同じものを作ってくれるかも知れません。

吉村 則次

98-2-9

トンボ・ファミリークラブ誕生

「入会は随時、無料！」だそうです。機関誌「ハーモニカ・ライフ」を発行するそうです。その中でワンポイント・アドバイス、楽譜・CD・教本・ビデオなどの案内、コンサートの収録ビデオの案内、ハーモニカのイベントやコンサートの案内、グッズの紹介等をするそうです。入会希望あるいは興味のあるかたは次へ

トンボ・ファミリークラブ事務局

116-0013 東京都荒川区西日暮里2-37-22 TEL 03 5810-6820 FAX 03 3802-2107

(4月下旬入会者に対し「ごあいさつ」があり、新製品を含めた各種商品のチラシの送付がありました。「多くの方からご入会をいただき、係は名簿の整理などに忙しく嬉しい悲鳴を上げて」おられるとのこと。編集局注)

98-2-28

あのファンタスティック・アンサンブルは？

昨年のドイツ大会では、「ファンタスティック・ハーモニカ・アンサンブル」は見かけませんでしたが、どうなりましたか。斎藤壽孝さん(斎藤奈々子さんのご主人)だけは知っていますが、ほかの4人は誰でしたか。 フランス ルネ・アボヤン

ファンタスティック・ハーモニカ・アンサンブルは、1991年のデトロイトの世界大会のコンテストのために特別に編成されたバンドで、コンテストのアンサンブル部門で「セビリアの理髪師」を演奏して優勝しましたが、今は存在していません。

メンバーは、森本恵夫、斎藤壽孝、大矢博文、平井武、寺澤博義でした。

吉村 則次

徳永延生さんを聞きたい

(前略) 徳永延生さんの演奏は、横浜の国際大会で一度、聴いておりますが、その時の印象は、あまり強くありませんでした。その後、たまたま東京のある喫茶店で耳にしたハーモニカの音がとても奇麗でしたので、調べたところ、有線でかかっていた徳永延生さんの曲でした。録音された音では、よくわからないので、一度生音を聴いてみたいと思っていました。6月7日の徳永延生ライブ(心斎橋国際楽器社ホール)には、ぜひ行きたいと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。(おいでになりました、編集局)

東京都 匿名女さん

98-3-10

トゥーツ・シールマンズのCDはどこで買える？

徳永延生さんのハーモニカを喫茶店で聞きました。先日は本屋でも有線で流していました。大活躍ですね(中略)。徳永延生さんの「クロマチック・ハーモニカ・ポピュラー・コース」のレッスンCDのあとがきに「トゥーツ・シールマンズのレコードを聞きなさい」と書いてありましたので、捜したのですが、見つかりません。そのレコード又はCDはどこにあるのでしょうか教えてください。

田中 秀雄(寝屋川市)

大手のレコード屋には、ジャズのコーナーに「トゥーツ・シールマンズ」(頭文字T)のラックがあります。まず、そこを覗いてください。

私がよく行くのは、大阪では、西心斎橋のアメリカ村のタワー・レコード2階のジャズ・コーナー、心斎橋御堂筋大丸ま向かいのOPAの8階のHMVのジャズ・コーナーです。

その他大手のレコード屋を見てください。トゥーツ・シールマンズのラックを作っていない、大手ではないレコード屋では、ジャズのところで「T」(シールマンズの綴りはToots Thielemans)の欄を見てください。

上記のタワーとHMVに行くと、シールマンズのCDは、10枚ぐらいは必ずあります。

シールマンズは、あのようなすごいプレーヤーですから、ソロ・アルバム(リーダー・アルバム)以外にも、だれかのCDに2-3曲だけ入れていたり、いろいろなボーカルのかたや他の楽器の演奏のバックや、映画音楽にも入っており、それらはシールマンズのラックには入れてありませんので、捜すには日頃の注意(ハーモニカ関連の団体に入会して機関誌を読むとか、ジャズの雑誌を読むとか、コレクターやハーモニカ友達を見つけてと情報交換するとか)と、少しの経験が要ります。

このような関西ハーモニカ連盟の機関誌(3か月に1回発行)にも、毎回CDのニュースを載せておりますから、これに入会されるといいでしょう。入会されるとクロマチック・ハーモニカ友達も見つかると思います。

吉村 則次

98-3-24

ハーモニカ演奏は僧侶の声明と通じる

会報135号、楽しく拝見しました。小さい頃からハーモニカに親しんだ者には、あの小さい楽器に強く愛着を感じます。ハーモニカの演奏は大きい腹式呼吸をします。これが酸素の大量供給⇒健康につながるようですね。僧侶の声明(しょうみょう)と通じるようです。歌手の歌唱にも、それだけに清潔さが大事です。関西の活発なご活躍、心強き限りです。

徳永 至(福岡県)

(編集局注、同氏は福岡教育大学名誉教授でハーモニカ愛好者。日本ハーモニカ芸術協会(佐秀会)顧問、全日本ハーモニカ連盟参与。当連盟会報132号(97/7月号p17)にも「生涯学習とハーモニカに思う」というご寄稿をいただいております。近く90歳を迎えられるはずです。)

98-3-28

盲人対象のハーモニカ教室は？

盲人のかたでハーモニカを習いたいという希望のかたが当市内におられますが、盲人対象の教室というものはありますか。

堺市教育文化センター 井村 美穂

関西では、奈良県大和郡山市の社会福祉法人「歯車の会」(0743 54-0110 担当青木、藤岡)というところが、盲人を対象に毎月1回ハーモニカ教室を開いておられます。

堺市からも2名来られています。講師は当連盟常任理事の宇佐美進氏です。詳細はその法人へお尋ねください。

編集局

リードのチューニングには、小型ドリルを 村越克司さんへ

前号のあなたの記事(p41)、興味を持って読みました。いいハーモニカをお持ちのようで、またそのメンテナンスにも気をつけておられるようですね。

私は、スーパー64のみを使っていますが、以前使っていた#270(12穴クロマチック)に比べて、スライドの張り付きは、かなり長く起こらないようです。スライドが動く「トンネル」が気密であればあるほど、張り付きも早いものと思います。だからシルバー・コンチェルトは高価な手作りだけあって、気密性が高いのかも知れません。

それから、リードのチューニングには、あなたはリードプレートを外されるようですが、小型のドリルを使うと、いちいちリードプレートを外さなくてもできます。外側にあるリード(吸うリード)は、いずれにせよプレートを外さなくてもできますが、中側にあるリード(吹くリード)でも、スロットからそのドリルの細いビット(先端につける金具)を突っ込んで(クロマチックの場合はバルブがちょっと邪魔になりますので、一応取り外してから)リードを削ることができます。プロクソンという日本のメーカーのものうちの一番小型のもので、大手の荒物屋で5000-7000円ぐらいで手に入ります。これで私はだいぶ楽をさせてもらってます。

更に、バルブの問題ですが、確かにあなたが言われるようにバルブの状況により、ピッチも変わります。バルブの問題は、「そり」と「ひつつき」と「びびり」がありますが、メーカーでさえ「バルブは永遠の未完成品である」と言っているくらい、残念ながら完全なものはないようです。あなたはどうされていますか。私は、調子の悪くなったバルブは未練なく捨てて、古い壊れたリードプレートから同じ長さのバルブを取り外して来て、つけ替えております。古い時代のバルブの方が良かったようにも思います(メーカーでも常に研究しているが永遠に未完成品=進歩がない、というわけか)。

バルブをリードプレートに引っ付ける「のり」ですが、特にどれがいいとか、どれが悪いとかは私はわかりませんが、ねばりが少なくて薄く延ばせるものの方がいいように思います。ねばりがある「のり」を使うと、「のり」の厚さでリードとプレートの上に隙間ができて、そこから空気のもれが起り、バルブ自体が振動して音を出す(いわゆる「びびり」)ようです。

吉村 則次

98-3-30

私の家の近くの食品スーパー「マンダイ」では、いつも徳永延生さんのハーモニカが店内放送で流れています。ですから、いつもここで買い物をする。というわけでもないか。

上の東京都の匿名女さんも言われるように、徳永延生さんの演奏は、有線放送で相当広範囲に流れているようですね。

吉村 則次 (堺市)

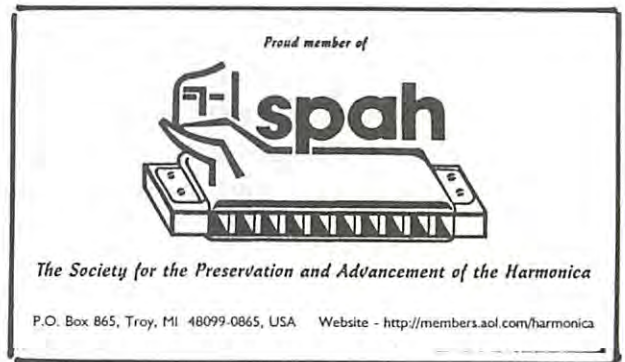
クロマチックを教えてくれるところを教えてください。12穴のクロマチックハーモニカと、楠司郎さん著の教則本(ヤマハ)を買いましたが。

水田 泰次 (生駒市)

(3月に当連盟が発行した「ハーモニカ教室一覧表」の中から、クロマチックの教室を抜き出してお知らせしました。編集局)

アメリカのハーモニカ協会(SPAH)では、その会員にこのような名刺用紙を無料で配っています。裏に自分の名前、住所等を自分で印刷しなさい、という訳。

いいアイデアですね。日本の連盟もまねをしたら?上の小さい文字は「私はSPAHのメンバーであることを誇りにしています」です。いい言葉ですね。



吉村 則次

98-4-2

ラリー・アドラー宅に泥棒

ラリー・アドラーのアパートに最近泥棒が入り、いつも彼が使っているシルバー・コンチェルト(銀製12穴クロマチックハーモニカ)とダグラス・テイトが彼のために特別に作った金属ボディの#270(12穴クロマチックハーモニカ)が盗まれました。

アート・ダーネ(オランダ)

98-4-13

受賞パーティ出席御礼

トロシゲンの春は天気が変わりやすく、先週の降雪が一変して夏の陽気です。

日本では桜の季節でしょうか。

先日のご多忙のところ、私の受賞パーティにご出席いただきまして、ありがとうございました。未だ受賞の実感が沸きませんが、これからが正念場とっております。今後とも宜しく願い申し上げます。

特別顧問 和谷 泰扶

板ばねを使ったクロマチック・ハーモニカは いつごろあったの？

クロマチック・ハーモニカのスライドを戻す力は、いまではハーモニカ本体の右端の穴の中にある針金のばねですが、ハーモニカの外に板ばねを取り付けてあるものを、ジェリー・ムラッドさんが持っていたのを見たことがあります。また最近では松田幸一さんのコンサートのチラシにその写真が載っていました。あれはいつごろまであったのでしょうか。現物をお持ちのかたはおられませんか。

吉村 則次

教室が多いのにびっくりしました

会報をご送付頂きまして、誠に有り難うございました。流石、関西ハーモニカ連盟、皆様の優れた素晴らしいご活躍ぶりに、心打たれました。

また、教室の数や、会員数の多いのにも驚きました。当、東北など、それからみると、誠に恥ずかしい次第で、今後大に見習わなければならない点が、多々あることを自覚致しました。ともあれ、同じハーモニカ仲間として、今後ともお互いの交流を密にして、日本のハーモニカ界の興隆に益していかなければ、と発奮の思いを新たに致した次第です。

会員の皆様にも何卒よろしくお伝え下されたく、加えて、貴連盟の今後益々のご隆昌の程を、心よりお祈り申し上げまして、右御礼に代えさせていただきます。

岩手県ハーモニカ協会 佐藤 武男

クロマチック・ハーモニカの教室を教えてください

「ほんわかテレビ」を見て、ハーモニカを習いたくなりました。教室を教えてください。あなた（吉村）のお名前は、ハーモニカの本の終わりに載っていた佐藤さんというかた（佐藤倭子氏＝日本ハーモニカ芸術協会会主のこと）に電話したら教えてくれました。

大阪市城東区野江 M女

「ハーモニカ教室一覧表」からクロマチックの教室を抜粋し、送付しました 編集局
(注)「ほんわかテレビ」とは、連盟会員の木谷悦子氏が出演した仁鶴の番組のこと。

会報を有料でもいいので送ってほしい

(一部省略) 先日は関西ハモ連の会報第135号を有り難うございました(注、4/26全日本ハーモニカ連盟総会会場で差し上げたもの)。私も関西(香川県)出身なので、大変なつかしく感じられました。松山市JR駅近くにもハモ、アコ教室を持っております。なお、今後会報が出ましたら有料でもかまいませんので、お送りくだされば幸いに存じます。連盟各位にもぐれぐれもよろしく御風声下さい。

池田 輝樹(埼玉県)

(編集局注、同氏は香川大学学芸学部音楽科出身、作曲家、編曲者、演奏者。出版された合奏用編曲も多い。南部ハーモニカアンサンブルを経て、NHKのど自慢伴奏者、バンド・マスター、柏葉高校及び聖カタリナ女子短大音楽講師、全日本総合音楽院院長。全国幼児リード器楽合奏連盟理事長等。

ハーモニカ各団体の役員を務めるかたわら、ハーモニカ、アコーディオンのレッスンをされており、FIHハーモニカコンテストの審査員もされている。)

クアラルンプール1998
第2回亜細亜太平洋口琴大会

2nd Asia Pacific Harmonica Festival & Competition, Kuala Lumpur 1998

全日本ハーモニカ連盟が旅行を企画

編 集 局

大会期間 9/8/7~9(金、土、日)、ただし受付及びリハーサルは6日(木)

主 催 マレーシア・ハーモニカ・協会 Malaysia Harmonica Association (MAHA)

協 力 Harmonica World Sdn Bhd

開催場所 マレーシア、クアラルンプール近郊の P. J. Civic Hall (公民中心礼堂)

参加費 下記参加旅行に記載のとおり

内 容 演奏会、セミナー、コンテスト

コンテスト(コンテストの申し込みは残念ながら5/11締め切り済)

1、複音ソロ、2、クロマチックソロ、3、テンホールソロ、4、二重奏、
5、トリオ、6、重奏(ハーモニカのみ4-6人)

7、小合奏(7-14人)、8、大合奏(15人以上)

複音、クロマチック、二重奏、トリオ、重奏は、年少者と成人に分かれている。

クロマチックは、他の大会と異なり、クラシックとジャズには分かれていない。

課題曲なし 演奏時間、大合奏のみ15分、他は6分以内

伴 奏 クロマチックソロのみ、ピアノ、ギター、テープ、CD伴奏可能

小合奏と大合奏は、伴奏楽器が3分の1を超えてはならない

賞 金 総額3万円(約90万円)、

最高大合奏優勝2千元(約6万円)、ソロ優勝5000元(約15000円)等

日 程

8/6 受付及びリハーサル

8/7 年少者コンテストと歓迎パーティ

8/8 成人コンテスト、ガラ・コンサート

8/9 成人コンテスト、表彰式



参 加 旅 行

主 催 JTB東京亀戸支店 企 画 全日本ハーモニカ連盟

日 程 出発8/5(水)(成田発)

帰国(成田着)8/11(火)または8/12(水)(シンガポール立寄組)

費 用 158,000円または195,000円(シンガポール立寄組)

大会参加費はこれに含まず、別途6,500円必要

申込締切 6/30(火)

旅行の募集広告は、編集局にありますから、必要なかたは編集局長あてご請求ください。

詳細は、主催のJTB亀戸支店高橋明治氏(03 3685-3221)にお問い合わせください。

コンテスト申し込みや大会に関する問い合わせは全日本ハーモニカ連盟(03 3802-2105)

または当連盟副理事長吉村則次氏(電話及びFAX 0722 51-9398)へ

私が会社勤務時代、在阪大手企業の秘書が集まり「一火会」という親睦会が、毎月第一火曜日に開かれていた。会場もゲストも毎回変わってしたが、昭和53年の春、「東洋ホテル」での会合の際、『大きな楽器と小さい楽器』という演題で、講師は梶 秀満氏となっていた。

「大きな楽器」の演奏は、当時数百万円という Hammond オルガンで、若い女性が巧みに弾き、「小さい楽器」は、ハーモニカで、この梶講師が独奏された。

曲目は「荒城の月」これをマイナーとメジャーの複音ハーモニカで吹かれ、私は短調と長調での「荒城の月」は、はじめて聞くものであり、そのすぐれた演奏に感嘆の声を漏らした。割に長い編曲であった。さらに一曲「ラ・パロマ」を演奏。

会が終わってのち、私は控室へ単身梶講師を訪ね、「実は私はハーモニカの愛好者ですが、以前神戸リードバンドに梶 又一郎さんという名手がおられたのを知っていますが、何かそのお方とご関係がおありですか？ 梶というお名前は珍しいので」と質問すると、「その又一郎は私です」と言われ、私はびっくり。「名前を変えたのです」とのお話であった。

平口謙二氏の記録によると、昭和6年7月15日、東京日比谷公会堂での『全国都市対抗選手権大会』には関西から出演の梶 又一郎氏が優勝者10名のうち6位で（注、当時は今のように優勝者は1名ではなく、複数の人を優勝者とし、その中でさらに順位をつけていた）、曲目は「荒城の月」となっている。私が拝聴した47年前のことである。年齢は17歳の時。

その後、梶 又一郎氏は独奏者として各大会の審査員として活躍、特に「火祭りの踊り」は有名であった。

その日は名刺を交換して別れたが、非常に温厚なお方という印象を受けた。

後日、私は手紙で先日の「荒城の月」の楽譜をいただきたい旨お願いしたところ、ご本人よりご丁寧な返書を頂戴したが、その一部をご紹介します。

『・・・さて、お申越し頂きました「荒城の月」の独奏編曲譜ですが、実は私の信条として、ハーモニカ無伴奏ソロには楽譜は無用であると思って居ります。

つまりハーモニカは無伴奏ソロの場合、もっともむき出しに自己の心情表現をナマで、しかも瞬間的に歌い上げる事が最もフレッシュであり、且つ音楽表現手段、及びハーモニカの楽器としての機能制約から云って適切であり、これは恰も、日本画家が即席に揮毫し、或いはその昔平安の貴族が曲水の宴で歌を即興で詠んだように、平素の修養と心がまえが機に応じ、時に臨んで応変して作動する。これが楽器性能としては必ずしも優れていないハーモニカにとって音楽表現としてはこの「手」以外には考えられないのではないかと思います。

従いまして、もし機会があれば再度ご面談の機を得、未熟ではありますが、私の演奏も間近でおきき頂き、もし御参考になる個所でもあれば、それを御採用いただくというのが、最も適当かとも存じます、・・・昭和53年5月1日（原文のまま）』

ペン書きの心情あふれる長文の書状を前にして、私はこういうハーモニカへの見方、考え方もあるのかと認識を新たにした。

梶氏は大正3年、尼崎市の400年からの旧家の出身で、後年星相学にこって名前を「又一郎」から「秀満（ヒデマロ）」に改名された由。

私がいただいた時の名刺は、日本楽器、ヤマハ音楽教室指導スタッフとなっていたが、のちにヤマハが誇る「合歓の郷（ねむのさと）」の総支配人に就任。

しかし昭和55年9月19日病没、享年66歳。

私にとっても惜しいお方の逝去であり、66歳はすこし早すぎたようにも思う。

ハーモニカの大先輩の一端をご披露し、若いハーモニカ奏者への御参考になればと思い一筆したためた次第。



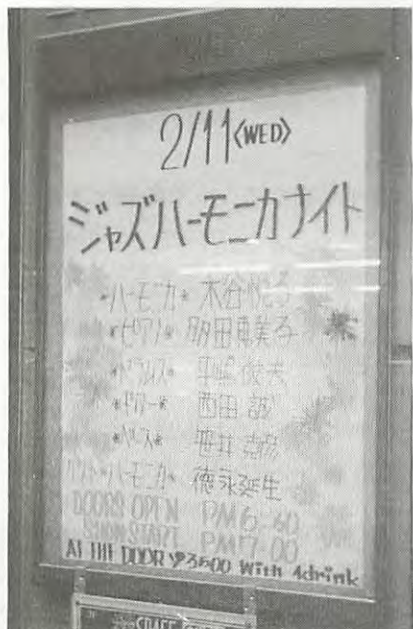
わたしの町で
ハーモニカコンサートをやりませんか
1999年関西ハーモニカ祭り
会場推薦依頼
事業部長 飛田 保雄
電話 0774 41-6568 FAX 0774 43-3789

毎年1回行っております当連盟の最大の行事、「ハーモニカ祭り」。
今年も、別途案内のとおり10月25日（日曜日）守口市のエナジーホールで開催しますが、すでに来年1999年の会場を探しています。
大きなホールは、だいたい1年前から予約を受け付けており、当連盟でも、例年10月-11月に翌年分の予約をしています。
わたしの町の、こういうホールで一度やってほしいという候補がありましたら、私あてお知らせください。
ホール名、所在地、所有団体、日曜日又は土曜日1日借り切るときのだいたいの基本費用（リハーサル室借賃や照明や音響の費用を除いたホール借賃）、予約受付はいつからか、電話番号等、基本的なところをお調べのうえお知らせください。
なお民間のホールは、便利などころにあります、使用料が高くて当連盟の財政では利用できませんので、おのずから市民ホール、公民館、区民ホール、県民会館等の公的なホール、すなわち市や府県やそれぞれの下部団体（文化振興会等）が所有しているホールということになります。なお、広さは客席数400-500席が適当です。

世界ハーモニカフェスティバル1999 日程と開催場所決定

日時 1999年10月7日（木曜日）から10日（日曜日）まで
場所 フランス、ドービル（Deauville） パリの近郊だそうです。
詳細内容は未発表ですが、過去のフェスティバルから類推すると、コンテストもあるはず。今から準備しませんか。

当連盟会員 木谷 悦子 氏の活躍



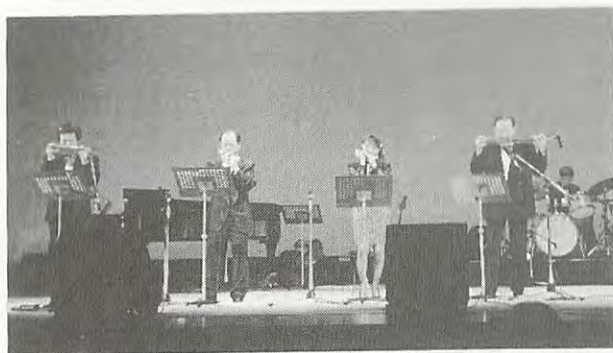
Jazz Harmonica Night 木谷悦子ライブ
心斎橋ミュージックホール



98/2/11 Jazz Harmonica Night 木谷悦子ライブ
心斎橋ミュージックホール、ゲスト徳永延生氏とともに



98/2/11 Jazz Harmonica Night 木谷悦子ライブ
心斎橋ミュージックホール



98/3/14第778回府民劇場「ハーモニカ1998」
阪南市立文化センター(サラダホール)
左から辻晋哉、徳永延生、木谷悦子、恒川富雄、



98/4/24 木谷悦子 復興支援コンサート
神戸、かんしんホール

復興支援コンサート

神 戸 新 聞 1998年(平成10年)4月4日 土曜日



クロマチック・ハーモニカを手にする木谷さん。挑戦する女性が増えているとか＝高槻市芥川町

半音も出せるクロマチック・ハーモニカの奏者木谷悦子さん(35)＝高槻市＝の復興支援コンサート「疾走するハーモニカ」が24日午後7時、神戸市中央区下山手通のかんしんホールで開かれる。ハ

神戸で24日
コンサート

ーモニカを始めてわずか4年で国際大会第1位になった実力者。この春、勤めていた高槻市役所を辞め、プロ演奏家の道を歩み出した。

(宮沢 之祐記者)

疾走、迫力の ハーモニカ

高槻の木谷さん

クロマチックとは半音階の意味。レバーを押すと半音階上がるため、ジャズやクラシックも吹くことができる。木谷さんは一九九三年、偶然入った楽器店で、大阪を拠点に活動するプロ奏者徳永延生さんの演奏を聞いた。小学校時代に少しだけピアノを習った程度の経験しかなかったが、語り掛けるような豊かな音色に引かれ、その場で徳永さんにレッスンを申し込んだ。当初は低音部を出せず、くじけかけた。ところが、口の形や息の出し方を会得した途端、音が出るようになった。九五年、国内大会のジャズ・ポピュラー部門に応募。ただ一人の女性だった。「迫力のある演奏」と評価され第一位。

猛練習でこの春プロに

豊かな音色に引かれて 4年で国際大会1位

「以前には思いもしなかった展開。一目惚れした音色の魅力が尽きず、こまめに来たのかな」
出演の思いを神戸での公演にこめる。
定員百人。前売り二千元、当日二千五百円。☎078・3333・3894(かんしんホール)。
また神戸新聞読者二十組(二組二人を招待する。希望者は往復はがきで、〒650-0011 神戸市中中央区下山手通二ノ二ノ一三、関西西宮信用金庫「コンサート係」へ。九日必着。

震災復興支援コンサート

疾走するハーモニカ/クロマチックハーモニカ

木谷悦子

'98 4月24日(金)午後7時開演(6時半開場)

かんしんホール ☎078-333-3894

(関西西宮信用金庫本店8階)

●主催 震災復興支援コンサート実行委員会



当連盟主催

浜松ハーモニカ工場見学と懇親演奏旅行



98/3/17 浜松 鈴木楽器のホールにて
鈴木楽器の関係者、浜松の愛好者と共に



98/3/17 浜松、鈴木楽器にて
ディスカッション



宿泊した鈴木楽器の
浜名湖研修センター



浜松のハーモニカグループの合奏



鈴木ハーモニカ工場にて
左から、青木、今井、山村、神谷氏（鈴木）



鈴木楽器ハーモニカ工場見学記

事業部長 飛田 保雄

新幹線浜松駅下車、改札口を出ると鈴木楽器の出迎え陣が待ち受けていた。駅の喫茶店でコーヒーを御馳走になり、早速マイクロバスに乗り込み工場へ。天気は文字どおり快晴だ。工場の会議室で両者自己紹介、あいさつをすませ、工場見学となった。私にとっては、初めて見るハーモニカ工場である。

いつも手にとっているハーモニカが、どのようにして出来上がり、生まれて来るか、それを知ることに期待が現実のものとなったのである。

広い工場、それは整然とし、高性能を思わせる工作機械がギッシリ並んでいた。

ピアノも作っているということであるが、微妙な旋律が持ち味であるハーモニカが、生まれてふさわしい雰囲気と環境を持った工場、という表現がピッタリだなと思った。

作業中の社員さんに直接質問をしてみた。そこであかたがえたのは、自分の仕事に自信と誇りを持っておられるということだった。そして、この工場は、一朝一夕に出来たものではなく、永年の努力の賜物だ、ということであった。

リード、本体、カバーの製造と組み立て、いずれも寸分のミスもゆるされないものである。

そして絶えず品質の向上というテーマを持ちながらハーモニカが出来上がり、私たちの前に現れて来るのだな、ということを知り、心の中にキザミ込んで、工場見学を終わった。

社内のホールで地元浜松のハーモニカグループとの交換演奏会も行ったが、独奏、合奏と総勢七拾名余り出演、皆負けじ劣らじと熱演、ガンバった。

夜の宿泊は、鈴木楽器の寮ということであったが、社長が別荘用地として以前に購入されたというだけに浜名湖を一望の下に出来る絶景の地で、特に朝の太陽、またそれに輝く湖面の黄金色に輝く風景は、新鮮な魚の味と共に忘れぬよい思い出となりました。

リードが溶接でつけられている！ スズキの工場で驚いたこと

吉村 則次

今まで、私がハーモニカ工場を見たのは、昨年のホーナーの工場が初めて、オートメーションされた製造工程にびっくりし、失礼ながら、日本ではまだあそこまで行ってないだろうなという感じで、今回の鈴木工場を見ましたが、ドイツと同様にオートメーションが進んでいるのが分かりました。

見たのはキーボードハーモニカでしたが、リードをリードプレートにひっつけるのに、リベットではなく溶接を使っていました。このほうが製造としては楽で、また正確にできるのかも知れませんが、1枚のリードがこわれた場合、リードは溶接で固定され、そのリードだけを取り替えたりすることができないので、不便ではないかと感じました。リードプレート全体を工場に送り返せとのことでした。大量に生産されるキーボード・ハーモニカならいいのですが、我々が使うハーモニカもこうなると困るなという感じを持ちました。

キーボードハーモニカのチューニングは、完全にオートメーションされていました。電子的にピッチを測って、回転やすりが自動的にリードの先あるいは根元を削っていました。しかしその前の段階で、リードの材料の板を薄く削っていく工程では、その厚さを人がゲージで測りながらやっていた。これはオートマチックにはできないのでしょうか。

リードの金属は、黄銅板の帯状のものを購入し、自社で厚さを削り、切っていくとのこと、またリードの金属のメーカーは日本では2社しかなく、2社とも大阪の会社であるとのこと。大阪のものにとっては、ハーモニカでは一番重要なリードの金属が大阪で作られているということ、非常にうれしいことでした。また、金属のリードの取り方は、意外にも横目の方が折れないので、横目に取っているとのこと。

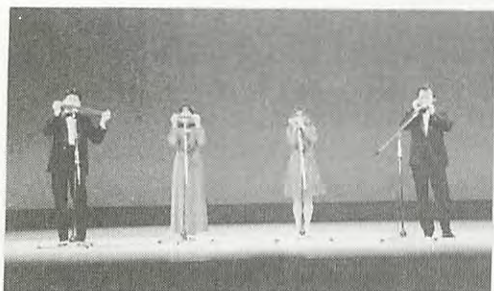
写真 ニュース



新井克輔 ハーモニカライブ
98/2/1 湯川ホール(堺市)



98/3/22 和谷 泰扶 受賞祝賀会
烏丸京都ホテルにて



3/22 小林忠夫/齋藤壽孝ジョイントコンサート

〔京都ハーモニカカルテット〕

■華麗なる四重奏の調べ



98/4/2 小林忠夫ハーモニカ教室開講デモ
梅田第一産経学園



鈴木楽器浜名湖研修センター
左から、青木、今井、吉村



98/3/22 小林忠夫/齋藤壽孝ジョイントコンサートにて
京都ハーモニカアンサンブル

■小林忠夫と京都ハーモニカ・アンサンブル

輝くハーモニカ・コンサート “ペントニックハーモニカの世界”

入江章次

春もたけなわ、お彼岸のお墓参りでごった返す3月22日、京都で素晴らしいハーモニカ・コンサートが開催された。「小林忠夫・齋藤壽孝ジョイントコンサート」、題して“ペントニックハーモニカの世界”である。ペントニックは「5音音階」のことで「ペンタゴン」、「ペンタックス」の「ペンタ」と同じ意味である。

さて肝心のコンサートは、第1部がメイン・タイトルの“ペントニックハーモニカの世界”（小林・齋藤 デュオ）で「津軽じょんがら節」からスタートした。

その後はソロで「黒田節、中山晋平名曲集より、草津節、さくらの旋律による変奏曲、こきりこ節」が演奏された。名手2人の和服での演奏は、これらの曲にピッタリですっかり日本のムードにしたることが出来た。まさに名曲名演の世界だ。

次は「華麗なる四重奏の調べ」（京都ハーモニカクワルテット）の演奏で「ひばり、2つのギター、マリア・エレナ」等が演奏された。二度も世界チャンピオンに輝いたクワルテットで、知らぬ人はいない。演奏は何時聴いても、飽きることはない。とてもバランスの良いクワルテットで、バスは女性だが、以前にもましてすばらしくなっている。正にベースとしてクワルテットを、がっちり支えている。

第2部は「小林忠夫と京都ハーモニカ・アンサンブル」で、（小林忠夫 ソロ）は、組曲スペインより「マラゲーニアその他」、「小犬のワルツ」が演奏された。ハーモニカの超絶技巧もいとも簡単という感じである。

続いて（小林忠夫と京都ハーモニカ・アンサンブル）は「童謡・春夏秋冬メドレー、りんご追分、民謡メドレーは花笠踊り、大漁歌い込み、南部牛追い歌、五木の子守歌、おてもやん、会津磐梯山、八木節」が演奏された。民謡も聴く機会が少なくなったが名演奏によってすっかり気分が盛上がった。

最初から最後まで名演奏ばかりだったが、京都の方々には名演奏は当たり前という感じで、拍手が意外とサーッと終わってしまう。これは司会者のせいもあるだろう。私はもっと拍手を贈りたいと思っても、何時までも一人で拍手も出来ないので程々にしたが、本当に聴きごたえのある演奏会だった。次回は皆様も是非いらっしで下さい。

ペントニックスケールは我が国の童謡、民謡、演歌、等のヨナ抜き音階をはじめとして、世界各地に独特の音階がある。これらはたとえ歌えたとしても、さぐり吹きでは、仲々吹けないものがあるが、それはその音階に慣れていないだけのことだ。

ピアノをさぐり弾きされた方は黒鍵だけで弾くと、演歌調になることを体験されたと思うが、これがペントニックスケールのなかの、ヨナ抜き音階の世界です。

夜は烏丸京都ホテルで、和谷泰扶氏の京都府文化賞奨励賞受賞及び、青山財団、バロックザール賞受賞の祝賀会が催された。いつも和谷泰扶氏の演奏を聴くと、音楽的だなあと思う。一流オーケストラとの共演も多いのだが、反面我々のハーモニカ演奏には、ハーモニカ節というか、独特のアクセントがついている様に思えてならない。機会があれば是非、和谷泰扶氏の演奏をお聴きいただきたいと思います。 Fine.

『ハーモニカは楽器の王子様』

ペントニックハーモニカの世界

新 しい C D

吉村 則次

◎The Bauers(ザ・パウワーズ) テープ

The Bauers(ザ・パウワーズ)とは、ジェリー・ムラッド・ハーモニキャッツの2代目のコード奏者であったボブ・パウワー(Bob Bauer)を中心とするトリオである。今回3種のテープを発売した。CDではなく、テープなので、音質はやや劣るが、内容はいい。いずれもアメリカの業者から購入。

- 1, The Bauers present A Holiday Harmonica Festival クリスマスの音楽
- 2, The Bauers Sentimental Love スタンダード・ソングス
- 3, HARMOPNIKINGS, Autumn Concerto ポピュラー・ミュージック

◎LARRY LOGANラリー・ローガン/Classical Harmonicist, Souvenirs USA, LOGAN-1023

アメリカのクラシックのクロマチック奏者である。お会いしたことはないが、1961年に文化交流でアジアにも来て、横田空軍基地で演奏した、とのことだから、相当な年齢のかたと思われる。クラシックの小品を演奏している。古い録音をCDに復刻したというものもあり、音質が良くないものも交じっている。本人から直接購入

◎SANDY GERMANサンディ・ジャーマン/Tenderly, USA 7D738

アメリカのクロマチック奏者サンディ・ジャーマンの最初のCDである。ソフトムード本人から直接メールオーダーで購入

◎HERBINEAUX エルビノー/Arizona Blues Train, Belgium Hebra Music CD214

すでに解散しているが、かつて有名であったトリオ・キャンディードのソロ奏者ピエール・エルビノーのカントリー・ミュージックである。グリッサンドハーモニカを使った「熊蜂の飛行」なども入れており、面白い。日本ハーモニカ芸術協会及び全日本ハーモニカ連盟の演奏会会場に出店していた神奈川県の本ックス・コアで購入

◎WILLIAM GALISONウィリアム・ガリソン/Midnight Sun

Germany Edition Collage EC508-2

久方ぶりのガリソンのソロアルバムである。東京池袋WAVEにて購入

◎TOOTS THIELEMANSトゥーツ・シールマンズ 2曲だけ演奏

Flying Monkey Orchestra/Back in the Pool USA Monkeyville Records MV 60101-2

長いこと探していたけれど見つからなかったCDである。こういうマイナーな、知られていないバンドと一緒に演奏し、マイナーなレーベルから出されている場合、レコード屋でどのジャンルに入れられるかわからない。だから「偶然」とか「ラッキー！」と言われるものがなければ、行き着かないものである。結局のところこのCDは、あべの近鉄のHMVのジャズのところで、このジャケットの演奏者の一番始めに挙げてある演奏者Rod Mounseyを頼りにして「R」のところに置かれており、Rで始まる別の演奏者のCDを探していた偶然見つかった。

◎TOOTS THIELEMANSトゥーツ・シールマンズ Chez Toots

USA Private Music 01005-82160-2

本当に久方ぶりの、トゥーツ・シールマンズのリーダーアルバム(全曲がその人の演奏のもの)である。ほとんどがシャンソンの曲で、パリの空の下、ラ・ビ・アン・ローズ、行かないで、愛の賛歌、ムーラン・ルージュ等我々にも馴染みの曲が多く、楽しめる。今回のお薦め。あべの近鉄HMVで購入

ハーモニカ用カラオケCD

特にハーモニカ用として作られたものではないが、ハーモニカの演奏や練習に非常に役に立つカラオケCDがどんどん出て来ている。

楽譜屋や楽器屋あるいは大手の本屋に行ったら、各種の楽器用の楽譜のコーナーをのぞいてみよう。

◎独唱曲集、美しい日本の名歌 ドレミ楽譜出版社 2500円

「赤とんぼ」から「宵待草」まで、日本の名曲15曲の伴奏が、それぞれ二つの調子（ボーカルの高声、中声、低声のうち二つ）延べ30曲が収録されている。したがって、二つのキーのうち自分に適している方の調子のもの、あるいは（複音の場合）自分が持っているハーモニカのキーのものを選べばよい。

ワン・コーラスのみで、1曲あたり平均2分強という短い時間になっている。

「うすメロ」というものが入っているから、初心者にとってはありがたい。しかし、上級者にとっては、これは邪魔で、これを使って、人前で演奏するにはちょっとまずい。伴奏は、楽譜はピアノ用であるが、演奏はシンセである。

◎大人のためのポップス ピアノ アルバム サーベル社 2100円

「80日間世界一周」から「慕情」まで12曲の、模範演奏とカラオケが入っている。ピアノ用とはいえ、「大人のための」と名前を付けているということは、易しく編集され、メロディは和音なしということなので、左手部分は無視して、メロディのみをハーモニカで吹いても問題はまったくない。

◎ピアノカラオケ、ニューミュージック・ヒット・ステーション

ドレミ楽譜出版社 2500円

今井美樹、SMAP、安室奈美恵、森高千里、藤井フミヤ、辛島美登里、杏里、Globe等、われわれには少しなじみが薄い歌手の曲ばかりの15曲だが、もしみなさんのハーモニカ教室の生徒さんの中にヤングがおられると、これらの歌手の曲を取り入れると、ヒット間違いなし、「あの先生違うね!」ということになる。

私ごとになるが、私が講師をしている堺市教育文化センターのハーモニカ講座で、昨年紅白にも出た、ル・クブルの「ひだまりの詩」と安室奈美恵の「キャン・ユー・セレブレイト」をデモ演奏し、「ひだまりの詩」をC調になおして練習に取り入れたら、生徒の目の輝きが変わった。その後、中島みゆきも、若い人に人気があることがわかった。

◎気分はいつもコンチェルト、たのしいアニメ・デュオ1 株ショパン 2500円

「もののけ姫」「天空の城ラピュタ」「風の谷のナウシカ」から10曲が収録されている。ピアノ連弾の練習用のCD及び楽譜であるが、CDは、第2ピアノのパートをオーケストラで収録し、第1ピアノをあなたが弾く、という形式になっており、ハーモニカの練習にも適している。人前で演奏するのにも十分耐えられる。聴衆が子供や児童の場合、この中から何曲かをピックアップされると、みんなの目が輝くことと思う。

楽譜屋の「ピアノ」のコーナーにあります。

◎気分はいつもコンチェルト、たのしいアニメ・デュオ2 株ショパン 2500円

上と同じで「となりのトトロ」と「魔女の宅急便」から、10曲が収録されている。「ねこバス」など聞くのも吹くのも楽しい。

◎ハーモニカ魅惑のメロディー1及び2、鈴木教育出版株式会社、各3600円

文字どおりハーモニカ用のカラオケである。15曲収録されており、楽譜は複音ハーモニカ用に数字譜で書かれている。模範演奏もついており、それは厚木市の柳川優子さんが演奏している。C、C#及びAmがあれば全部吹ける曲ばかりを集めている。コードネームが入れているので、カラオケで練習したあとは、アンサンブルとしても楽しめる。初心者にも中級者にもぴったりの楽しいハーモニカカラオケCDである。

◎休日のヴァイオリニスト ドレミ楽譜出版社 2500円

クラシック、ポピュラー等混合。むずかしいものまで入っている。

◎わが心のメロディー（やさしいヴァイオリン編） ショパン 2000円

日本古謡、民謡等比較的単純な曲を、2つのスピードで伴奏が演奏されている。初心者向き。ハーモニカ教室向きか、と思う。

アジアにもすごいクロマチック奏者が いるものだ！

—英皇口琴五重奏、徐徳明、遊宏任のCDを聴いて—

村越 克司

徐徳明（上海）、屈文中作曲、柏米爾綺想曲（The Pamir Capriccio Op. 21）

遊宏任（シンガポール）、「梁祝」口琴協奏曲、ほか

英皇口琴五重奏（キングス・ハーモニカ・クインテット＝ホンコン）

ビラ・ロボス作曲弦楽、四重奏曲、ドボルザーク作曲、弦楽五重奏曲ほか

上記3枚のCDは、すべてアジアのクロマチック奏者の演奏（CD）であり、大変興味深く聴いた。自国の文化に対する気持ちの深さを感じた。

自国の作曲家によるオリジナル曲は、良いものと感じた。

今の日本には、クロマチック・ハーモニカのための曲は、特定の奏者による委嘱作品しかなく、市販されている楽譜がないことは問題だと思う。ハーモニカ音楽が普及するためには、楽譜を中心としたソフトの充実が大切かと思う。

キングス・ハーモニカ・クインテットは、大変音楽的な演奏である。

トリオ（コード・ベース・メロディー）の場合、どうしてもリズム中心になりがちで、和音はコードが担当することになるが、四重奏五重奏の場合、それぞれの奏者が和声感覚がないといけけないので、むずかしいことと思われる。

それと弦楽器は音程を自由に作れるが、ハーモニカの場合は音を下げることができても、上げることができない。楽器の調律をきちんとすることと、聴音にすぐれている奏者の集まりの場合は、少し高めに調律しておき、各人が全体の音を聴きながら、自分の音を合わせていくことが可能かもしれない。

それからベースハーモニカであるが、このキングス・クインテットのベースは、弦ベースよりも、ファゴットに音が近いように思われる。ダブル・リードのベースではなく、シングル・リードのベースを使っているものと思われる。

ロングトーンでも良い音が出るベースハーモニカ（リード）が開発されるとよいと思う。

いずれにしても、素晴らしい演奏である。特にドヴォルザークが良いように思う。

徳永・ハーモニカ・セミナーツアー どなたでも参加できます！！

日 時 9/13（日）-15（祭） 2泊3日
13日 午前9：30 出発 大阪から車で乗り合わせて出発
15日 午後4：00 現地出発 帰阪
場 所 奈良県吉野郡下北山村上池原 下北山スポーツ公園
電話 07468 5-2711 温泉あり！
内 容 参加者及び徳永延生によるハーモニカコンサート
ピアノトリオが随行します。
個人レッスン、セミナー、リズムトレーニング、合奏
テニストーナメント、バーベキュー、ビンゴゲーム等
費 用 40,000円（交通費も込み）
定 員 40名
申込先 徳永06 934-7266

同教室の生徒でなくても、また連盟会員でなくても参加できます。

「ルネッサンス」
新しいクロマチックハーモニカ

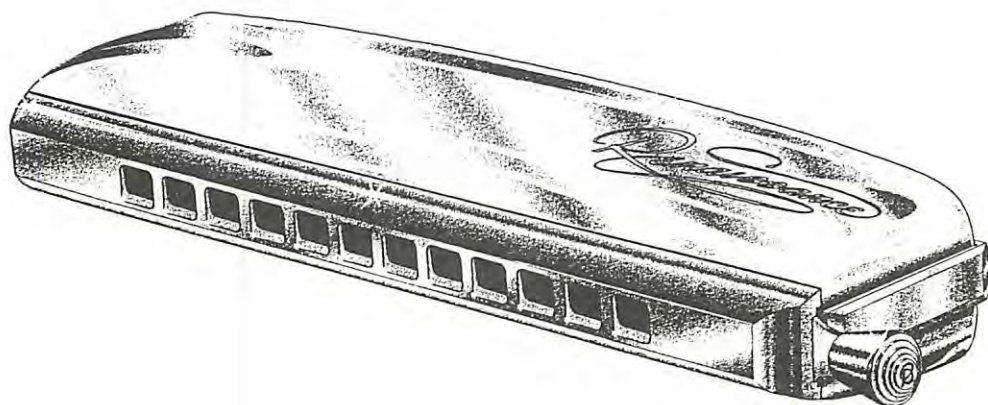
吉村 則次

アメリカのハーモニカ協会 (SPAH) の最近の会報によると、イギリスのダグラス・テイトというクラシックのクラシックハーモニカ奏者が、アメリカのボビー・ジョルダノという人と共同で「ルネッサンス」という12穴クロマチックハーモニカを製作し売り出した、とのこと。同誌には、3ページ半にわたり、写真を含む詳細が記載されている。

問題の値段は記載されていないが、「いい学生用フルートと同じくらいだが、修理をせず、部品交換をせずに一生持つ」と書かれている。「リードの交換は必要だが、そのコストは、普通のハーモニカよりははるかに安い」とのこと。写真で見える限り、外に見えるねじが全くなく（どうしてマウスピースを固定しているのだろう）、マウスピースからカバーへの段差がない。ハーモニカのルネッサンスとなるか？ 詳細を知りたいかたは、SPAHの記事のコピーをお送りします。吉村則次（電話及びFAX 0722 51-9398）まで。直接の問い合わせは、

Douglas Tate, 12 Fallowfield, Ampthil, Beds MK45 2TP, United Kingdom へ。

The Future has arrived...



"Renaissance"

アメリカで、ハーモニカ・コレクターズ・
インターナショナル・協会が発足

吉村 則次

最近、アメリカのミズーリ州に「Harmonica Collectors International (H C I)」(ハーモニカコレクター国際協会)が設立されました。

ハーモニカに関するいろいろのコレクション、例えばハーモニカそのもの、カタログ、録音物、演奏家の歴史、等々のコレクターの会合で、会報を発行し、売り買いの広告を行い、年1回会合、展示とオークションを行うこととのことです。年会費25ドル。

私もコレクターですので、すぐ入会し、特権会員 (Charter Member) となりました。

アメリカには、これ以外にも「ハーモニカ教育者 (Educater) ニュースレター」「ハーモニカ・インフォメーション・プレス」(主にブルース・ハーブ系) などがあり、こういう面では日本よりかなり積極的のようです。入会希望者は私へどうぞ。

ハーモニカメーカーは世界にいくつ？

吉村 則次

かつては数えられないくらいあったといわれるハーモニカ・メーカーも、最近では需要が少なくなり、世界中でも指で数えられるくらいに減少したのではないかと考えられます。

私知っているものを上げてみたいと思います。もしこれ以外にもメーカーがありましたら教えてください。

◎日本

トンボ
スズキ

以上2社はご存じのとおりメーカーで、ほとんどすべての種類のハーモニカを製造している。

ヤマハ

複音も12穴クロマチックも一応カタログに載っているようですが、主流は教育用の単純なものが多いのではないかと考えられます。

国内でこれら以外に、我々が知らない会社で、教育用のハーモニカのみを作っている会社があると聞きますが、不明。

◎ドイツ

ホーナー

世界で一番歴史が古いメーカー。ここがハーモニカの原形を作ったと言ってもよい。クロマチック及びブルースハーブ系のハーモニカでは非常に強いが、複音は少量となったためか、最近自社での製造を中止し、外国で作らせている。日本ではモリダイラ楽器という会社が輸入販売しているので、大手楽器店ですべてのものが手に入る。

◎中国

ファン

すべての種類のハーモニカを製造している。製造は中国であるが、販売はアメリカの会社が一手に行っているため、購入しようと思ったらアメリカに注文しなければならない。日本国内に代理店はない。

◎韓国

MiWha(ミフ)複音のみを作っているのかと思われる。日本国内に代理店はない。

◎ブラジル

ヘリング

コードやバスは作っていないようである。クロマチックは、品質がよく一部有名プレーヤーにも使われている。日本国内には代理店はない。したがって、他の国の販売店から購入しなければならない。

◎その他

ドイツ製のS・E・Y・D・E・Lという名前の12穴クロマチックハーモニカを、日本の新聞広告を見て購入したが、ドイツ製と書いてあるだけでメーカー名は不明。

情報をお送りください。

ハーモニカのコンサート、行事等の情報は、なるべく早く編集局長の方にご連絡ください。たとえ次の会報では間に合わないものでも、出来る限り関係のかたにお知らせしたいと思えます。また、過ぎたことでも「ハーモニカカレンダー」には掲載します。

吉村則次、電話及びFAX 0722 51-9398、591-8008 堺市東浅香山町3-104-5-201

同時に同じものを次のところへもお送りください。同連盟が月1回発行している「ハーモニカ最新情報版」に載せてくれます。(スペースがなくて載せてくれないこともあります。)なお、ここへ自分宛封筒に切手を貼って送っておくと、その情報版を毎月送ってくれます。

全日本ハーモニカ連盟、石山篤、電話03 3802-2105 FAX03 3802-2107
116 東京都荒川区西日暮里2-37-22

知らせていただく項目は、最小限次のとおり。

開催日・時刻、演奏者(団体)名、コンサート名、場所、入場料、問合せ電話番号

神戸の山下ピアノ音楽教室でも

木谷悦子がクロマチック・ハーモニカレッスン

神戸の三宮駅近くの山下ピアノ音楽教室では、すでに白鳥氏等を講師として複音ハーモニカの教室を開催されていますが、この度木谷悦子氏を講師として7月からクロマチック・ハーモニカのレッスンを開始するとのことです。

個人レッスン

実施日 毎月第2及び第4金曜、6:30pm以前、一人30分

月謝(1カ月2回で)

初級6000円、中級7000円、上級9000円(級は曲のレベルにより決定する)

グループレッスン(10人以内)

実施日 毎月第2及び第4金曜、6:30-7:30pm

月謝 未定

ほかに設備料一律1,500円、入会金10,000円 月謝、設備料、入会金とも税別

詳細は、山下ピアノ社にお問い合わせください。

神戸市中央区琴緒町5-3-5、JR三宮駅山側正面グリーンシャポービル6F
電話078 241-2348

台湾の会社がホーナーの過半数の株主に

吉村 則次

(アメリカハーモニカ協会(SPAH)の会報 Harmonica Happenings の1998年1-3月号から転載)

Musical Merchandise Review誌の97/12月号によると、97/11/18ホーナーは「台湾のKHS楽器会社の一部門であるKHS Investment Group, Inc.(投資会社)がホーナーのMajority stockholder(過半数の株の株主)になった」と発表した。「KHSは、そのホーナーの過半数の株をドイツとカナダの企業である投資会社Kunstから取得した。しかし、過半数の株の株主は台湾の会社となったが、ホーナーは従来どおり本社をドイツに置く。」

関西地区

クロマチック・ハーモニカ教室一覧

(講師の五十音順)

クロマチック・ハーモニカを始めたい、習いたいというかたのために、3月に発行いたしました関西ハーモニカ連盟の「ハーモニカ教室一覧表」から、クロマチックの講師名、電話番号、教室名及びその住所のみを抜粋しました。複音と合同の教室を含んでおります。(詳細は、各役員及び講師に対し3月に配布しました「教室一覧表」に掲載されておりますのでお尋ねください。教室名のあとの番号は「教室一覧表」の掲載番号です。)

赤井由美子 0798 22-1844

教室名番号/68 ハモニ館ハーモニカ教室 662-0046 西宮市千歳町7-42

新井 尚子 075 361-3982

教室名番号/1 新井尚子ハーモニカ教室 600-8326 京都市下京区花屋町通西洞院東

新井 善久 075 361-3982

教室名番号/59 京都エンゼル合奏団新井教室

600-8326 京都市下京区花屋町通西洞院東入西松尾町

入江 章次 0726 95-0654

教室名番号/46 毎日文化センター楽しいハーモニカ 530-0001大阪市北区梅田3-4-5

上本 洋 0742 71-1291

教室名番号/89 平城東ハーモニカ同好会 631-0806 奈良市朱雀6-9-1、平城東公民館

宇佐美 進 0720 57-2077

教室名番号/8 牧野ハーモニカ同好会 573-1143 枚方市宇山町4-5 牧野公民館

教室名番号/9 宇佐美ハーモニカ教室 573-1155 枚方市招提南町2-7-15

教室名番号/10 「歯車の会」ハーモニカ同好会 639-1158 大和郡山市いの町47-2

教室名番号/11 「クレオ大阪南」ハーモニカ教室

547-0026 大阪市平野区喜連西6-2-33

大石 喜一郎 0726 41-2087

教室名番号/29 ハーモニカサロン川西 666-0015 川西市小花1-6-20 肥爪ビル4F

教室名番号/91 茨木ハーモニカサロン 567-0074 茨木市新郡山2-31-35

教室名番号/32 大石ハーモニカ教室 567-0074 茨木市新郡山2-31-35



木谷 悦子 0726 83-2187 教室は、0726 83-2945
教室名番号／87 木谷悦子ハーモニカ教室 569-1123 高槻市芥川町2-10-7
教室名番号／86 NHK大阪文化センター
530-0001 大阪市北区梅田1-11-4、大阪駅前第4ビル
教室名番号／88 大阪Cityアカデミー564-0027 吹田市朝日町1-401、さんくす1号館4F
教室名番号／
山下ピアノ音楽教室
神戸市中央区琴緒町5-3-5 グリーンシャポービル6F

楠 陽児 06 349-5573
教室名番号／65 大阪クロモニー(相川練習場)
533-0007 大阪市東淀川区相川1-2-1-801

小林 敬 06 606-1718
教室名番号／66 大阪クロモニー(長居教室) 558-0005 大阪市住吉区长居2-9-28

小林 忠夫 0798 22-1844
教室名番号／12 京都エンゼル 600-8119 京都市下京区富小路通五条上ル上徳寺
教室名番号／68 ハモニ館ハーモニカ教室 662-0046 西宮市千歳町7-42
教室名番号／13 JEUGIAフォーラム楽しいハーモニカ教室
604 京都市中京区烏丸夷川東入、京都新聞ビル南館7F
教室名番号／14 Coopこうべ生活文化センター、楽しいハーモニカ教室
658-0081 神戸市東灘区田中町5-3-18、Coopこうべ生活文化センター
教室名番号／69 神戸新聞文化センターKCCハーモニカ教室
650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7、神戸新聞文化センター
教室名番号／70 産経学園ハーモニカ教室
530-0017 大阪市北区角田町8-47、阪急グランドビル25F
教室名番号／59 京都エンゼル合奏団新井教室
600-8326 京都市下京区花屋町通西洞院東入西松尾町563

徳永 延生 06 934-7266
教室名番号／82 徳永ハーモニカ教室
530-0017 大阪市北区角田町8-47 阪急グランドビル30Fナカイ楽器
教室名番号／83 徳永ハーモニカ教室 538-0054 大阪市鶴見区緑1-5-22

飛田 保雄 0774 41-6568
教室名番号／60 宇治ハーモニカスクール 611-0031 宇治市広野寺山17-19

吉村 則次 0722-51-9398
教室名番号／4 ソフィア・スコリオ・ハーモニカ講座
堺市深井清水町1426 中文化会館
教室名番号／5 吉村ハーモニカ教室 591-8008 堺市東浅香山町3-104-5-201

7 - 9 月研修会開催のお知らせ

指 導 部

- 1、場 所 福田診療所 2階 友遊館
537 大阪市東成区東中本1-4-17 電話 06 974-2220
(地下鉄中央線緑橋4号出口すぐ、見取り図は下記のとおり)
- 2、費 用 運営費及び資料印刷代として、1人5000円
- 3、ミニコンサート
終了後ミニ・コンサートを予定しています。
PA、MDプレーヤー、CDプレーヤー、テープレコーダー、楽譜立て、マイク等は準備してあります。
- 4、必要なもの 各種ハーモニカ、筆記用具、五線紙等
- 5、問、指導部長 白鳥 達夫 電話 06 728-7951

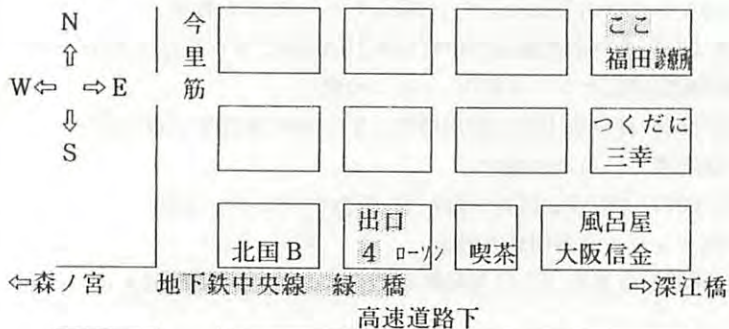
テーマ 『ハーモニカの教育・指導・運営上の
問題点』 (3回シリーズ)

講 師 指導部長 白鳥 達夫 氏

第3回 「合奏指導の問題点」

日 時 98年7月24日 金曜日 午後6時から午後8時00分まで

研修会会場 見取り図



医療法人 福田診療所 3階建の建物
537東成区東中本1-4-17
☎06 974-2250
地下鉄 緑橋 4番出口から歩5分



巷談 佐藤秀郎伝

齋藤壽孝氏が出版

当連盟の特別顧問でもあります齋藤壽孝氏が、上記の書籍(30ページ、写真入り)を発行(自費出版)されました。佐秀会の会報に10年にわたり掲載されたものをまとめたものだそうです。過去の日本のハーモニカ事情を知るのに非常にいい資料だと思えます。希望のかたは、日本ハーモニカ芸術協会または、ご本人へ

会員の異動

組織部長

新入会

佐藤 俊美	875-0043	大分県臼杵市上塩田一組	0972 63-7817
藤井 賢治	620-0000	福知山市天田清水上260 東岡住宅B-304	0773 24-3124
菅村 一雄	520-2315	滋賀県野洲郡野洲町辻町268	077 587-3137
(有)ソハマミュージック 代表者 奥村 幸孝 (賛助会員)			
	540-0034	大阪市中央区島町1-4-1-201	06 966-3051
平野 満智子	810-0034	福岡市中央区笹丘1-25-17-204	092 716-3803
武村 脩	630-8003	奈良市佐紀町2707	0742 33-1987 (名前 おさむ)

退会

穂積 庄三郎
藤本 春市
村上 宣明

これにより、現在の会員数は203名となりました。



住所変更

庄戸 寛忠 657-0864 神戸市灘区新在家南町3-10-11-702 078 861-6316

以上、一部は4月号「追加版」で通知済みのもの再掲載

お詫び

前号の「折り込み」で、北尾郁子氏が退会とお伝えしましたが、これは間違いで、退会はされておられませんので、訂正いたします。情報の伝達誤りでした。

会員名簿の訂正

前号に掲載いたしました会員名簿に、次のとおり誤りがありましたので、訂正いたします。

浅尾 彰人	読み方	正	あさおあきひと	誤	しょうじん
	電話番号	正	0722 78-1199	誤	0797 89-0408
岩村 実男	電話番号	正	0774 41-6324	誤	0724 41-6324
速水 純	住所表示の修正	正	604-8084 京都市中京区富小路三条上ル福長町		

ハーモニカファン待望の

小林 忠夫編曲・編纂 愛 奏 曲 集 (CD付)

7月初旬発刊！童謡・春夏秋冬、たのしいクワルテット、日本の名曲、歌謡曲、ポピュラー、クラシック満載、定価税込み2940円、販売元(株)クリエイティブコンセプト 075 255-2898

Billy Gets an Unexpected Invitation



LET'S ALL GET HARMONICAS AND HAVE A HARMONICA BAND.

GREAT! ... HOHNER GIVES INSTRUCTION BOOKS FREE ... LET'S EACH SEND FOR ONE SO WE CAN PRACTICE TOGETHER ...

BILLY AND HIS HARMONICA CERTAINLY PEP UP THE PARTY

Mail Coupon for New Illustrated
HARMONICA INSTRUCTION BOOK
FREE Upon Request || **M. HOHNER, Inc.**
 351 FOURTH AVE., NEW YORK

M. HOHNER, Inc., Dept. 990M
 351 Fourth Ave., New York City

Please send me your new Instruction Book.

Name

Address

City State

Address Canadian inquiries to Hohner & Koster, Ltd., 415 King St. W., Toronto

The year was 1936.

パソコンを買いました。

この会報をお送りした封筒の宛て名をご覧ください。前号までのものと少し違っていることにお気づきのことと思います。編集局長が最近ウィンドウズ95のパソコン（従来のものはMS-DOSパソコン）を買いましたので、このような裏糊付きの宛て名ラベルが作れることになりました。これで組織部長、会計部長、編集局長の3人が同種のパソコンを持つこととなったので、同じような形で連盟会員の名簿を持つことができることになり、便利になりました。また、このパソコンで名刺を作ったり、いろいろなリストや会計帳票を作ることできます。

なお、今回の宛て名は従来のものと違うデータを利用して作成おります。もし宛て名に間違いがありましたら、組織部長または編集局長にお知らせください。



テレビもステレオもなかったころ ハーモニカがあった！

昭和11年のアメリカホーナーの広告、アメリカハーモニカ協会(SPAH)の会報から転載

吉村 則次

「考えてもいかなかったが、ビリーはパーティに招かれた」(左上の絵から)

ビリー「あのパーティに行きたいよ」

母「よく知り合うまで待ちなさいよ。うちが引っ越して来たばかりだということ分かっているでしょ。ハーモニカでも吹いてちょうだいよ？」

父「素晴らしいね、あの子は。ホーナーのレッスン書であんなに早く覚えたよ。プロのようだね」

パーティの女「ちょっと、みんな静かにしてよ、ほら聞いて」

パーティの男「おやおや、あの子はハーモニカの吹きかたを知ってるよ。何という名前の子だろう」

パーティの女「きつと、引っ越して来たばかりのビリー・ジョーンズよ。パーティに来るよりに頼んでみましょう」

パーティの男「隣でパーティをしているんですが、ビリーさんに来てもらえないでしょうか」

パーティの女「そしてハーモニカを持って、ね」

(ビリーがパーティでハーモニカを吹いている)

パーティの家の女の人(母親?)が隣の部屋で

「ビリーとハーモニカがパーティを盛り上げているようね」

パーティの男「みんなハーモニカを買って、バンドを作ろうよ」

ビリー「それはいい。ホーナーはただでレッスン書をくれるんだよ。みんな請求しましょう。そしたら私たち一緒に練習できるね」

あの頃、アメリカでの話だが、少年はニッカボッカを着てネクタイを絞めていた。テレビは当然なかった。父親は、家でもスーツを着てネクタイを絞めていた。

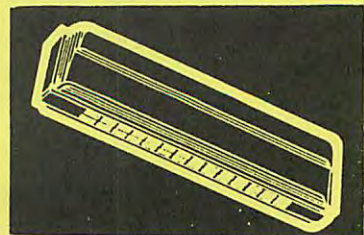
パーティでも、がんがん鳴る音楽はなかった。だから隣の家のハーモニカもよく聞こえた。この頃日本ではどうだったんでしょうか。みなさん思い出して。

1998年(平成10年)5月3日 日曜日

享月 日 業斤

名張市 夏目 いわ子
(主婦 63歳)

新緑の美しい季節となり、山に入れば若葉のおいが出る。花の苗木を買いにいき、ふとトウモロコシの苗が目にとまった。終戦後の物不足のところ、隣のやっちゃんが夕方になると「赤トンボ」をハーモニカで吹いていた。私も吹いてみたいと、母にねだった。でもすぐには買ってもらえなかった。私はニンジンやサツマイモにはして穴



を開けてハーモニカのよう
にしてみたが、音が出るは
ずもない。今度はトウモロ
コシを二列だけ残してハー
モニカに見立 の歌が好きで、私のほおを
て、声を出し 何度もクチバシでついで
て「赤トンボ」 催促した。そして私は今も
を歌った。 この歌を毎日のように口ず
それを見て さんでいる。歌っていると
母は、紙袋に きは遠い昔を思い出し、悲
米一升を入れ しいことも忘れてしまう。
てどこかへ出ていった。お またハーモニカを買っ
たのだ。ハーモニカを渡さ 亡き父や母、弟そしてビー
ちゃんに聞かせよう。



H	R	O	I	A
A	M	N	C	

関西八一モ二力連盟